

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 長野県 飯田市

自治体名：長野県飯田市

担当課名：教育委員会生涯学習・スポーツ課

電話番号：0265-22-4511

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 面積                     | 658.66 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 94,773 人               |
| 公立中学校数                 | 9 校                    |
| 公立中学校生徒数               | 2,673 人                |
| 部活動数                   | 74 部活                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                    |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                    |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

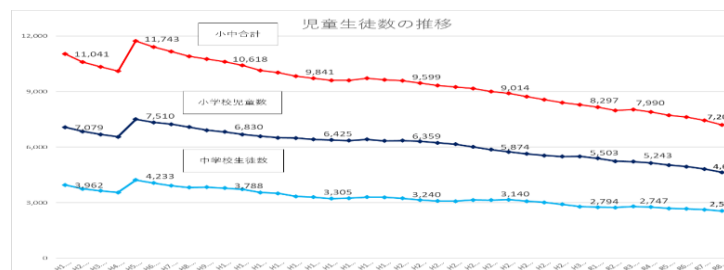
飯田市における少子化は、深刻な問題であり、平成元年度から令和4年度までの30年間に約4割減少している。今後も少子化は進み、市内全体では、10年後に更に1割減少することが予想されている。実際市内中学校でも以前に比べると部活動数が減少しており、令和5年～6年にかけて、3部活動が廃部となっている。

また、少年スポーツの過熱化による中学生の運動部活動への加入率の低下が進んでいる。

約6割の部活動顧問が、これまで経験したこと

のない種目を担当しているのが実情である。こうしたことは、生徒にとって満足のいく指導を受けられないというだけでなく、教員側にとっても大きな負担を強いられることになっている。

地域の指導者が、中学校部活動の指導に当たる機会は増えてはいるが、種目によっては、人材確保が難しい状況である。市内9校74部活動において、外部指導者が入っているのは45部活動にとどまっている。地域クラブ活動に移行するためには、地域の指導者の確保と育成は最重要課題である。



| 部活動数/人数 | R3   |       |       |      | R4   |       |       |      | R5   |       |       |      | R6   |       |       |      |
|---------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|
|         | 部活動数 | 人数    | 生徒数   | 加入率  | 部活動数 | 人数    | 生徒数   | 加入率  | 部活動数 | 人数    | 生徒数   | 加入率  | 部活動数 | 人数    | 生徒数   | 加入率  |
| 飯田市全体   | 100  | 2,269 | 2,764 | 82.1 | 100  | 2,150 | 2,728 | 78.8 | 93   | 1,976 | 2,654 | 74.5 | 93   | 1,916 | 2,627 | 72.9 |
| 運動部     | 68   | 1,463 | 2,764 | 52.9 | 68   | 1,372 | 2,728 | 50.3 | 61   | 1,260 | 2,654 | 47.5 | 61   | 1,241 | 2,627 | 47.2 |
| 文化部     | 32   | 806   | 2,764 | 29.2 | 32   | 778   | 2,728 | 28.5 | 32   | 716   | 2,654 | 27.0 | 32   | 675   | 2,627 | 25.6 |

【課題1】  
生徒数減少に伴う部活動数の減少と競技や活動の選択肢の少なさ

【課題2】  
専門的な知識や競技経験がない学校教職員による指導 地域指導者確保と育成

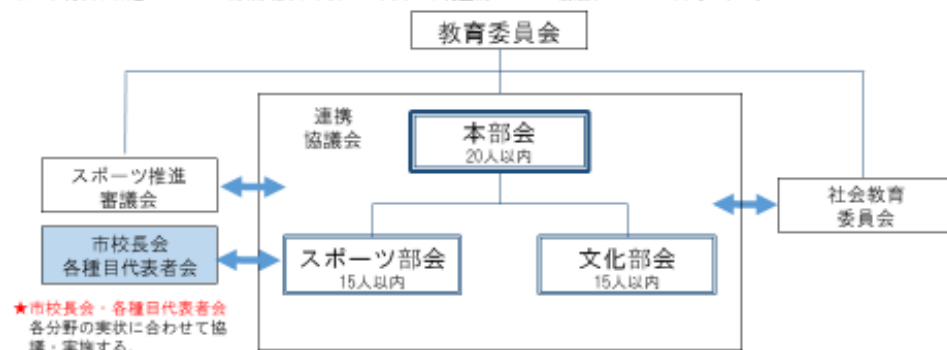
## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）

##### R6「飯田市中中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会」体制

★連携協議会の設置目的：飯田市の小中学生の地域における多様な文化芸術・スポーツ活動を充実させていくために、関係者が集まり現状や課題についての情報交換や今後のより良い環境整備について協議することを目的とする。



★本部会の役割（各部会の代表者20人以下で構成、年3回開催、座長（進行役）を決める。）

①中学生の活動についての現状、課題についての情報交換の場

・各部会から出された課題や意見について整理し、全体で情報交換する。

②市としてのめざす姿（理念）の共有の場

・単に従来の部活動を移行するものではない。めざすべきは、中学生のニーズに応じた多様で豊かな活動の場づくり。

③今後の地域との連携の方針や具体的な進め方等、提案についての意見交換の場

★専門部会の役割（文化・スポーツ各分野の関係者15人以内で構成、年各3回開催、座長（進行役）を決める。）

文化活動とスポーツ活動では、現状や課題、関係団体も異なることから、各部会の関係者に広く集まっていただき、それぞれの課題に応じた情報交換や提案に対しての意見交換ができる場とする。

★地域指導者の研修についての検討・

・指導者育成に必要な研修内容（プログラム）の企画、運営の検討

#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

・生涯学習・スポーツ課が部活動改革の主幹となり、学校教育課と連携を図りながら推進している。

##### ◎首長部局

・必要に応じて関係各課と連携を図っている。

### 年間の事業スケジュール

|         |                                             |
|---------|---------------------------------------------|
| 令和6年4月  | 全市型競技別スポーツスクールリーフレット配布                      |
| 令和6年5月  | 全市型スポーツスクールスタート<br>第1回連携協議会<br>各中学校部活動現状の把握 |
| 令和6年6月  | 指導者研修会実施（年5回）<br>連携協議会スポーツ・文化部会             |
| 令和6年7月  | 学校顧問・地域指導者代表者会                              |
| 令和6年8月  | スポーツ推進委員会研修会                                |
| 令和6年9月  | 各競技団体との懇談<br>第2回連携協議会                       |
| 令和6年10月 | 小学5・6年生へのアンケート調査                            |
| 令和6年11月 | 冬期ジブンチャレンジ期間 ～1月                            |
| 令和7年1月  | 部活動アンケート調査<br>（中1・2年生徒、教職員）                 |
| 令和7年2月  | 第3回連携協議会                                    |
| 令和7年3月  | 地域移行推進計画策定                                  |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                 |             |                                 |
|----------|---------------------------------|-------------|---------------------------------|
| 中学校数     | 4 校                             | 実施した地域クラブ総数 | 5 クラブ                           |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数） |             | 5 クラブ（陸上部・バレー部・サッカー部・女子ソフトボール部） |
|          | B：部活動にはない種目など、新規のクラブ数           |             | 0 クラブ                           |
| 全体の指導者数  | 21 人                            | 全体の運営スタッフ数  | 12 人                            |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名            | 運営団体種別   | 種目       | 実施回数                   | 実施時間帯                             | 参加者<br>(学年別)    | 実施期間 | 活動場所                       | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費              | 大会参加方法               |
|-----------------|----------|----------|------------------------|-----------------------------------|-----------------|------|----------------------------|------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 南信州ジュニアアスリートクラブ | 飯伊陸上競技協会 | 陸上       | 平日：水・金、<br>休日土日のどちらか1日 | 18:00<br>～<br>19:30<br>休日 3<br>時間 | 男女中学生<br>1・2・3年 | 1年間  | 飯田市松尾陸上競技場                 | 9 人  | 3 人<br>(内、兼務 3<br>人) | 年会費<br>12,000 円 | 中体連・その他：地域クラブ        |
| V.C.SUNRISE     | 民間クラブ    | 女子バレーボール | 平日：月・木、<br>休日は土日どちらか1日 | 19:00<br>～<br>21:00<br>休日 3<br>時間 | 女子中学生<br>1・2・3年 | 1年間  | 旭ヶ丘中学校                     | 7 人  | 6 人<br>(内、兼務 1<br>人) | 月会費<br>1,000 円  | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |
| FC ASAHI        | 民間クラブ    | サッカー     | 毎週土・日のどちらか1日           | 8：30<br>～<br>11：30                | 男子中学生<br>1・2・3年 | 1年間  | 旭ヶ丘中、<br>鼎中、川路河川敷<br>グラウンド | 3 人  | 5 人<br>(内、兼務 3<br>人) | 月会費<br>500 円    | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 全市型競技別スポーツスクールの実施（バスケット、サッカー、バドミントン等）競技力向上型参加者969名、体験型参加143名、出張型中学校訪問 2 回
- スキー、スノーボードスクールの実施 参加者 7 名
- 飯田市「冬季ジブン・チャレンジ期間」（11月～1月）学校部活動オフ期間に主体的にやりたいことに取り組む。

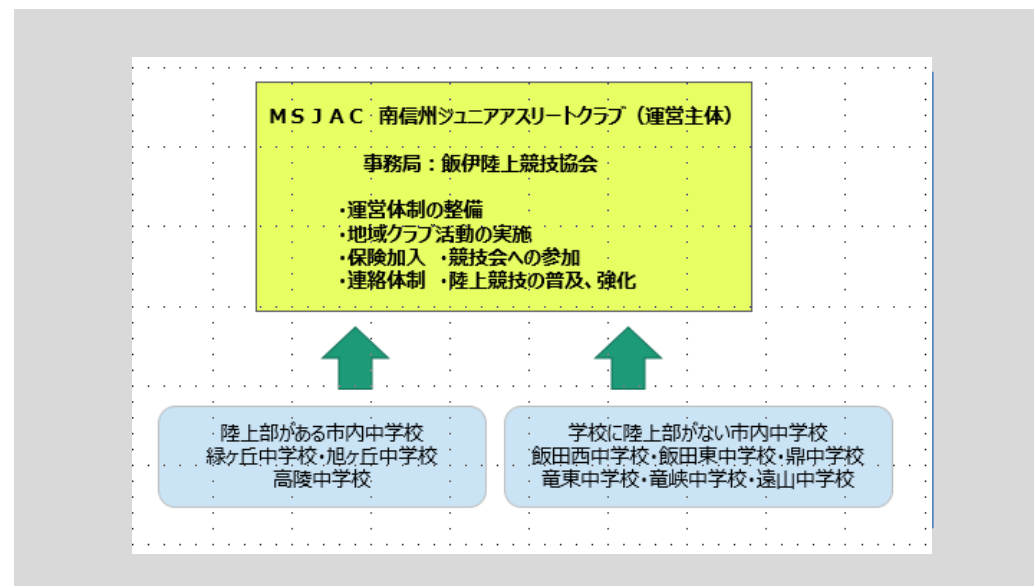
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●南信州ジュニアアスリートクラブ 活動概要

|                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 陸上                                   |
| 運営団体名           | 南信州ジュニアアスリートクラブ                      |
| 期間と日数           | 平日：水・金、<br>休日：土日のどちらか1日<br>年間を通じての活動 |
| 指導者の主な属性        | 飯伊陸上競技連盟                             |
| 活動場所            | 飯田市松尾陸上競技場                           |
| 主な移動手段          | 保護者の送迎                               |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 年会費 12,000 円                         |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年           |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●統括責任者：飯伊陸上競技協会会長

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を図る。

##### ●コーチ 9名

役割：生徒への陸上競技の技能向上を目指し、指導を行う。

##### ●運営者

役割：保険加入、会計、練習計画、大会参加登録等の業務を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

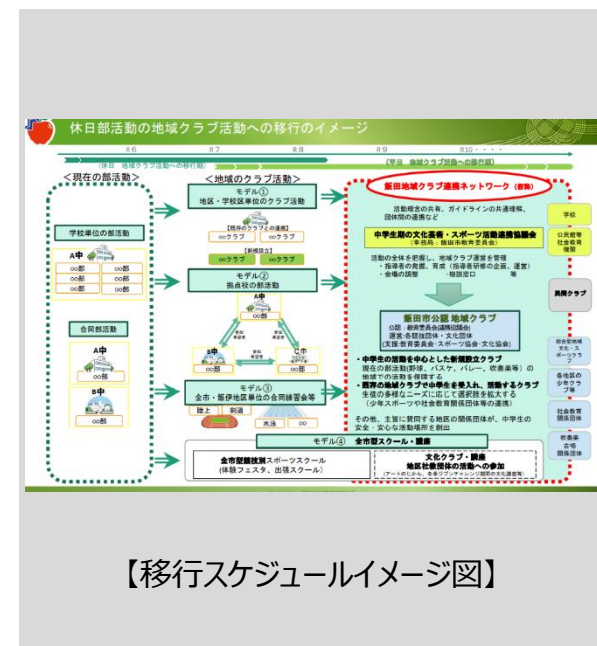
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・部活動地域移行支援コーディネーターの配置  
(統括的役割 1 名、エリア担当 2 名)
- ・飯田市中学生期文化芸術スポーツ活動連携協議会実施  
(本部会 3 回、部会 2 回)
- ・スポーツ関係団体との連携による活動の場の充実
- ・学校、保護者、地域指導者への理解の促進

##### 取組の成果

- ・部活動地域移行支援コーディネーターによる実態把握と関係団体との協議・聴き取りの実施により、R 8 年度までの休日部活動の地域移行へのスケジュールを明確にすることができた。
- ・各種目において、学校部活動顧問と地域指導者代表者会を実施することができ、各種目の現状と移行に向けた推進方法を検討することができた。(2回実施)
- ・学校教職員、保護者、地域指導者への説明(市内小中学校訪問計48回、校長会、教頭会への参加6回、スポーツ協会との懇談6回)
- ・実施から5年目となる飯田市全市型競技別スポーツスクールの成果と課題を明確にし、次年度以降の取組の方向性を明確にすることができた。
- ・推進計画を策定することができた。
- ・各中学校長との懇談や学校運営協議会、部活動保護者会等での協議を進める中で、各中学校が、R 8 年度までの具体的な移行イメージをもてるようになってきた。



#### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・学校、保護者、地域指導者等への説明・周知
- ・「広報いいだ」「YouTube」(飯田ケーブルテレビ)作成、広報
- ・中学校部活動運営協議会(14回)小学校6年生と保護者への説明会の実施(14回)部活動保護者会での説明会の実施(8回)
- ・小学校5・6年児童・保護者アンケートの実施

#### 今後の課題と対応方針

安心安全が担保されている地域クラブを飯田市公認クラブとして、移行を進めていく。その際に地域指導者の量と質の確保が大きな課題である。まずは、部活動指導員を配置し、学校の顧問と両輪で進めていくことで、運営面でも関わっていただける人材の発掘を進める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者研修の内容

|     | 日程・講師等                                | 研修内容                                                                                               |
|-----|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 6月6日<br>・講師 筑波大学スポーツ局 稲垣先生            | ・部活動指導員11名に対して、部活動指導員の業務と責任について説明<br>・学校との役割分担の確認<br>・飯田市が定める「指導者の心得6カ条」の確認<br>・悩みの共有、今年度の研修内容について |
| 第2回 | 8月26日(月)<br>・講師 消防士                   | ・救命対応について<br>・安全管理と事故対応について<br>・熱中症対策について                                                          |
| 第3回 | 10月31日(木)<br>・講師 関 賢一 株式会社BCF代表       | ・発達段階に応じた指導のあり方について<br>・科学的トレーニングについて<br>・身体機能チェック、あらゆる活動の基となる体幹トレーニング                             |
| 第4回 | 12月15日(日)<br>・講師 松井 英幸 元ラグビー高校日本代表監督、 | ・ハラスメント防止について<br>・パワハラで人生をしくじった元名監督に学ぶ『変わる勇気』                                                      |
| 第5回 | 2月19日(水)<br>・講師 友竹浩之 飯田短大教授           | ・栄養と食事について<br>・スポーツ障害とその予防<br>・地域指導者としての成果と課題の共有                                                   |

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日：6月6日(木) 8月26日(月) 10月31日(木)  
12月15日(日) 2月19日(水)
- ・開催回数：5回
- ・参加人数：のべ104人

##### 受講者の声

- ・自身より年上の方が、自身を変えられたことを知り、「私自身も変えられる」と励みになりました。
- ・「指導者の願望」と「生徒の願望」は常に考えなければならないと感じました。指導者が何を目標にしているか。指導者がどんな立場でいるかわわってくる。「勝つこと」が最大の目標である時に間違いが生まれるのではないか。今後の自分の指導へ役立てることができる知識等を得ることができました。
- ・傾聴する、受容することについて、理解できてよかったです。選手を理解して行動したい。声かけの仕方が大事だと改めて感じた。
- ・選択理論心理学に基づいた、内的外的コントロール、価値観、心構えなどをより詳しく学ぶことができました。

##### 今後の課題と対応方針

- ・市の目指す方向性を理解していただくための研修内容の吟味を図っていく必要がある。
- ・指導者の質レベルをあまり高く設定すると量の確保が難しくなる。飯田市では、安心安全面を大切に基本的な心構えを確認するところから始めていこうと考えている。(飯田市「指導者心得6カ条」の共有等)

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項



##### 活動の詳細

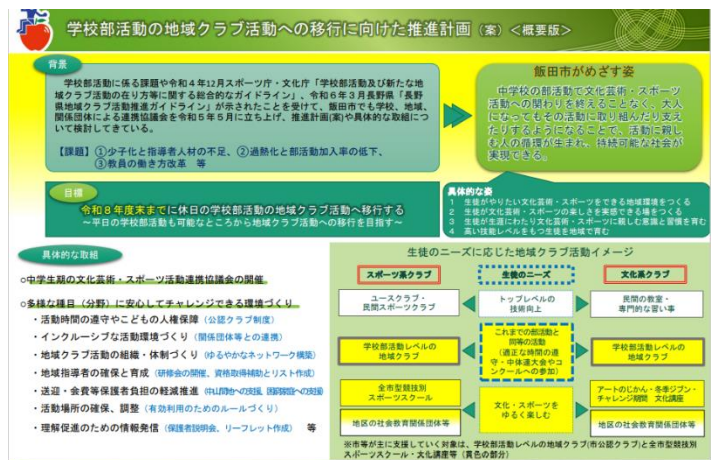
|        |                                                                                                                                                                                                           |      |         |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 参加人数   | 1,112人                                                                                                                                                                                                    | 指導者数 | のべ20人程度 |
| 属性     | スポーツ協会・教育委員会生涯学習・スポーツ課                                                                                                                                                                                    |      |         |
| 具体的な内容 | <p>・全市型競技別スポーツスクール ①中学生に対し、いろいろなスポーツ活動の選択肢を示し、スポーツ文化の普及と発展をめざす。②スポーツを通じて、他校の中学生との交流を図る。③スポーツを楽しむ中学生の増加をめざす。</p> <p>・参加者数(1月末)：競技力向上型969名 体験型143名 出張型2回実施</p> <p>・「スキー・スノーボードスクール」の実施 1/11(2人)、2/8(5人)</p> |      |         |
| 子供の声   | <p>・「他校の生徒との交流、仲間が増える」と答えている生徒が多い。他校との交流により生徒の人間関係は広がり、楽しむことができている。</p>                                                                                                                                   |      |         |
| 関係者の声  | <p>・各競技の裾野を広げるのに役立っている。</p>                                                                                                                                                                               |      |         |
| 運営経費   | <p>・市からスポーツ協会へ運営負担金として1,329,000円</p> <p>・参加者負担金 500円/1回</p>                                                                                                                                               |      |         |

| 種目          | 種別    | 累計(通年) |     |
|-------------|-------|--------|-----|
|             |       | 回数     | 人数  |
| バスケットボール初心者 | 体験型   | 30     | 132 |
| バスケットボール男子  | 競技力向上 | 26     | 289 |
| バスケットボール女子  | 競技力向上 | 25     | 581 |
| サッカー        | 競技力向上 | 15     | 99  |
| バドミントン      | 体験型   | 2      | 6   |
| アーチェリー      | 体験型   | 1      | 2   |
| ソフトボール      | 体験型   | 1      | 1   |
| スノーボード(スキー) | 体験型   | 2      | 9   |
| 出張イベント      | 出張    | 3      |     |

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括



- ・連携協議会等での協議を踏まえた上で、飯田市移行推進計画を策定し、目指す方向性や理念、スケジュールを確定することができた。
- ・中学校各部活動種目代表者会を開催し、移行に向けた現状の共有と移行に関わる課題の整理した。
- ・中学生や一般市民への社会教育関係団体の活動紹介、学校、保護者、地域指導者等への説明・周知・アンケート等を実施した。
- ・地域移行に向けた飯田市の方針を「YouTube」（飯田ケーブルテレビ）で広報した。
- ・中学校部活動運営協議会（14回）、小学校6年生と保護者への説明会の実施（14回）、部活動保護者会での説明会の実施（8回）、指導者研修会（5回）の実施。

#### ●成果の評価

- ・飯田市としての部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画を策定することができた。
- ・飯田市としての目指す方向性と理念、令和8年度までの休日部活動の地域クラブ活動への移行スケジュールも作成し、具体的に進める段階になってきている。
- ・中学生が在籍するクラブで、安全・安心が担保され、生徒の主体性を重視した活動ができる団体に対して、飯田市教育委員会が認定する飯田市公認地域クラブとしていくことで、地域移行を進めていくことを決定した。地域クラブ立ち上げの支援の仕組みを今年度末までには確定し、来年度からは実際に公認クラブの募集に入っていく予定である。飯田市として着実に前に進むことができたと考えている。
- ・地域指導者の質の向上のために年間5回の研修会を実施することができた。

#### ●今後に向けて

- ・指導者の確保と質の担保という点では、大きな課題が残っている。県の指導者リストを活用しつつ、飯田スポーツ協会と連携を図り、飯田市独自の指導者確保の仕組みを構築していく。飯田市公認地域クラブへの支援内容の確定とその後の活動内容の確認のため、代表者会を設置し、安心安全で持続可能なクラブ活動を目指していく。
- ・今年度からスタートしている地域指導者の研修会を更に充実させていく。
- ・公認地域クラブが、活動場所を優先的に使用できる仕組みを来年度中に決定していく。情報を一元化するプラットフォームの構築が必要である。

# 2.実証内容と成果③

## アンケート結果・広報資料

### 令和6年度部活動に関するアンケート結果

#### 1 アンケート概要

- (1) 対象生徒／調査対象：市内小学校5・6年生全員（小学校5年生469人、6年生517人）  
対象保護者／調査対象：市内小学校5・6年生保護者（787人）  
(2) 実施期間／令和6年10月28日～令和6年11月15日

#### 小学校(5・6年児童)アンケート結果

① 現在学校以外のクラブ・教室等で、スポーツや文化芸術活動に取り組んでいますか。



② 質問①で「いる」と答えた人に聞きます。どんな競技・種目に取り組んでいますか。

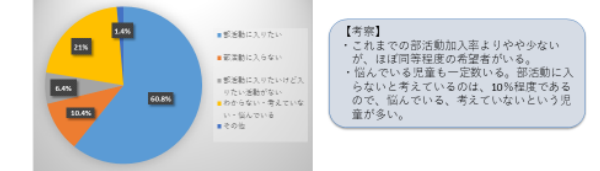


#### 小学校(5・6年児童)アンケート結果

③ 質問①で「いる」と答えた人に聞きます。1週間中、全部で何回参加していますか。

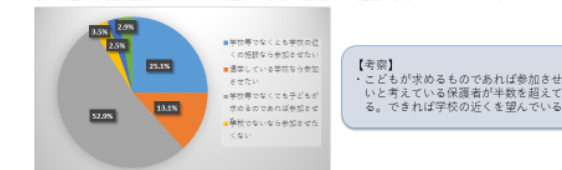


④ あなたは、進学する中学校で学校部活動に入ろうと思いますか。



#### 小学校(5・6年保護者)アンケート結果

① 休日の学校部活動がなくなった場合、お子様を地域クラブ活動に参加させたいですか。



② お子様を地域クラブ活動に参加させるとしたら、どのような指導者がいいですか。



#### 小学校(5・6年保護者)アンケート結果

③ お子様の移動手段はどうしますか。



④ 地域クラブ活動での参加費等は、月どの程度の額が妥当だと思いますか。



【保護者・地域への広報】

【出典:広報いまだ12月号】

【アンケート結果一部】

【出典:飯田市校長会との連携によるアンケート調査】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【武道体験フェスタ】



【秋の体験フェスタ】



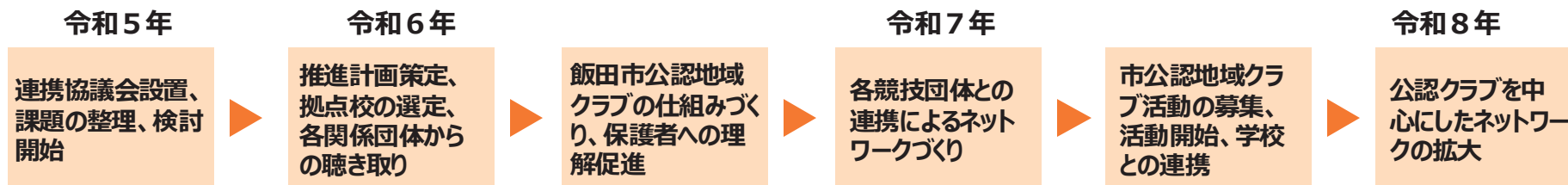
【第3回指導者研修会】



【全市型競技別スポーツスクール】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

小中学校長会、公民館、保護者代表者、飯田市スポーツ協会、各競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、中体連事務局、コーディネーター、市教委

#### ●経過

令和5年度より中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会を設置し、令和6年度末には、令和8年までに休日の移行を進める推進計画を策定した。令和6年度は、スポーツ協会や各競技団体と協議を重ね、生徒が安心安全な中で活動できることを目指して、飯田市が公認する地域クラブを立ち上げていくための仕組みづくりを進めた。

#### ●実施内容

地域移行を進めるケースとしておよそ4つのモデルケース（中学校単位、拠点校単位、飯田下伊那単位、体験型）を想定し、各中学校、各競技の実情に合わせて地域クラブ活動への移行を検討した。その結果、令和6年度には、学校単位では1クラブ、拠点校単位では3クラブ、飯田下伊那単位では1クラブが活動を始めた。

#### ●実施にあたって生じた課題

活動場所の優先的な予約システムや備品等の保管場所についての改善が指摘されている。来年度は、学校教育施設の開放規則を見直していく方向で考えている。また、種目によっては指導者の不足が大きな課題であり、スポーツ少年団や地域の企業等へ指導者募集を広げていくことを検討している。指導者を確保するには、ある程度の報酬を支払う必要があり、保護者の理解を得ながらその仕組みづくりを進めていく。送迎の問題も大きな課題であり、中山間地の生徒の選択幅を広げるため送迎のあり方も検討している。

#### ●今後の展開

令和8年夏の中体連、コンクールが終了後からは、市内すべての中学校において、休日の学校部活動を実施しない。市からクラブ創設のための財政的支援も検討している。また、生徒の安心安全な活動としていくために、指導者の質の向上を目指した研修会を年5回実施していく。地域クラブ活動の紹介動画やパンフレットを作成し、生徒に選択肢を示させるような広報も進めていく。

# 3.今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

|                                      | 2月                                                                                                                                                                        | 3月             | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                             | 令和8年度                                                                                                                          |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連携協議会<br>専門部会                        | ・2/4 教育長レク<br>・2/12 第3回連携協議会（推進計画修正案、今後の取組、次年度連携協議会体制 等）<br>・～3/末 次期委員選出、確定                                                                                               |                | ◎協議会の役割、取組進捗状況、ネットワーク構築、平日移行競技、公認クラブ管理 等<br>・5月 第1回連携協議会<br>・9月 第2回連携協議会<br>・2月 第3回連携協議会<br>※必要に応じて、文化・スポーツ部会、代表者会を開催                                                                                                                                             | ◎平日移行についての推進計画策定 等<br>・5月 第1回連携協議会<br>・9月 第2回連携協議会<br>・2月 第3回連携協議会<br>※必要に応じて、文化・スポーツ部会、代表者会を開催                                |
| 推進計画策定<br>リーフレット作成<br>配布促進           | ・2/10 スポーツ推進審議会 2/12連携協議会にて推進計画最終案確認<br>・2/18 定例教育委員会にて最終案確認<br>・2/18～概要版 原稿作成・校正（連休いつかとの打合せ）<br>・3/7 最終校正～印刷 概要版完成・配布・HP公開                                               |                | ・随時 各小中学校、地域説明会（拠点校3エリア）                                                                                                                                                                                                                                          | ・随時 各小中学校、地域説明会（拠点校3エリア）                                                                                                       |
| 部活動 活動指針の見直し                         |                                                                                                                                                                           | ・3/末 修正の方向性の検討 | ・4～6月 地域クラブ活動との連携整理<br>・6月 校長会にて意見集約<br>・～7/末 修正案、起案<br>・8月 定例教委報告、施行                                                                                                                                                                                             | ・4～6月 地域クラブ活動との連携整理<br>・6月 校長会にて意見集約<br>・～7/末 必要に応じて修正、起案<br>・8月 定例教委報告、施行                                                     |
| 連携ネットワーク運営体制の構築                      | ・2/12 連携協議会 考え方について提案（公認クラブ制度、ネットワークの役割 等）                                                                                                                                |                | ・4～8月 ネットワーク構築に向けた関係者との懇談<br>・～9/末 ネットワーク組織、役割確定、運営 次年度予算計上<br>・随時 公認クラブ活動進捗管理、各種相談業務 等                                                                                                                                                                           | ・随時 公認クラブ活動進捗管理、各種相談業務 等                                                                                                       |
| 公認クラブ制度策定・運用<br>公認クラブ補助要綱策定・運用       | ・1/末 公認クラブ制度案、公認クラブ補助要綱案 作成<br>・1/末 校長会、協会、吹奏楽連盟等関係機関への確認、意見聴取<br>・2/12 連携協議会にて検討<br>・2/18 定例教育委員会にて報告、意見聴取<br>・2/末 起案（市長決裁）・確定<br>・3/13 定例教育委員会にて報告<br>・3/末 募集チラシ、HP掲載準備 |                | ・4/中～ 公認クラブ募集 ～5/末（一次締切）<br>・～6/末 公認クラブ審査・確定<br>※必要に応じて随時公募、確定していく<br>・9/末 令和8年度予算要求<br>・1/中～ 令和8年度公認クラブ募集開始                                                                                                                                                      | ・4/中～ 公認クラブ募集 ～5/末（一次締切）<br>・～6/末 公認クラブ審査・確定<br>※必要に応じて随時公募、確定していく<br>・9/末 令和8年度予算要求<br>・1/中～令和8年度公認クラブ募集開始                    |
| 様々な活動を体験できる催しの創出<br>（全市運動技術スポーツスクール） | ・2/6 スポーツ協会との打合せ、各競技団体との協議（体験・出張型計画案検討）<br>・～3/中 次年度計画案作成、確定<br>・3/中～チラシ原案作成                                                                                              |                | ・4/中～ 開催チラシ配布、募集<br>・6月～3/末 体験・出張型 開催<br>・～9/末 上半期振り返り、下半期の確認、次年度計画案の協議、予算計上<br>※スポーツスクールの役割を確認しつつ進める。                                                                                                                                                            | ・令和7年度の様子により実施可否を決定<br>※エンジョイスカエとの役割分担の明確化が必要となる                                                                               |
| 様々な活動を体験できる催しの創出（文化系）                | ・1/18 アートの時間<br>・1/26 冬季ジブ・チャレンジ 文化講座開催<br>・2月 関係団体との振り返り<br>・3/末 次年度以降の計画案作成                                                                                             |                | ・4/中～ 開催チラシ配布、募集<br>・6月～3/末 体験講座 開催<br>・9/末 次年度開催に向けての関係者との協議<br>・10/末 令和8年度予算案                                                                                                                                                                                   | ・令和7年度の様子により実施可否を決定<br>※エンジョイスカエとの役割分担の明確化が必要となる                                                                               |
| 様々な活動を体験できる催しの創出（社会教育関係団体との連携）       | ・3/20～ 公民館主事会への説明、社教団体へのアンケート依頼 ～2/末<br>・2/末 集約、まとめ<br>・3/末 中学生受入可能団体一覧表作成                                                                                                |                | ・6月～ 一覧表配布、HP公開<br>・2月～次年度一覧表作成<br>・～3/末配布、HP更新                                                                                                                                                                                                                   | ・4月～ 一覧表配布、HP公開<br>・2月～次年度一覧表作成<br>・～3/末配布、HP更新                                                                                |
| 施設活用・備品管理等のルールづくり                    | ・～2/末活動場所（教室、テニスコート等）状況、利用希望調査（学校・各団体等）<br>・～3/末 利用者の確定、活動場所の確定                                                                                                           |                | ・4月～7月 学校テニスコート利用についての説明（まちづくり、近隣住民等）<br>・現行規則の時間変更、テニスコート利用についての規則改正<br>・9月議会 学校開放使用料徴収条例の改正（テニスコート夜間照明等）<br>・4月～ 倉庫室使用についての検討<br>・4月 説明会（処遇、研修会履修、事務手続き 等）<br>・毎月 勤務報告書の作成→提出<br>・～9/末 令和8年度部活動指導員確認、予算要求<br>・1/中～ 令和8年度部活動指導員確認<br>・2/末 確定 各学校通知<br>・3月 定例教委報告 | ・4月～ 研修会開催周知（部活動指導員、関係団体等）<br>・5～2月 年間5回実施（5月7月8月11月2月予定） 研修会修了証の発行<br>・3月次年度計画案策定、周知                                          |
| 指導者の確保<br>（部活動指導員）<br>含む 勤務・給与管理 等   | ・1/中～ 各学校部活動指導員確認、確定<br>・2/末 確定、各学校通知<br>・3/13 定例教委報告                                                                                                                     |                | ・4/末 指導者リスト作成<br>・5～3月指導者リスト確定・各クラブへの紹介（マッチング） 等<br>・随時 指導者追加募集（HP）<br>・3/末指導者リスト更新・各クラブへの紹介                                                                                                                                                                      | ・4月 説明会（処遇、研修会履修、事務手続き 等）<br>・毎月 勤務報告書の作成→提出<br>・～9/末 令和8年度部活動指導員確認、予算要求<br>・1/中～ 令和8年度部活動指導員確認<br>・2/末 確定 各学校通知<br>・3月 定例教委報告 |
| 指導者の確保<br>（部活動指導員以外）                 | ・～3/末指導者募集吹奏楽、合唱、各競技団体等<br>県登録者確認、関係団体への調査 等                                                                                                                              |                | ・4月～ 研修会開催周知（部活動指導員、関係団体等）<br>・5～2月 年間5回実施（5月7月8月11月2月予定） 研修会修了証の発行<br>・3月次年度計画案策定、周知                                                                                                                                                                             | ・4月～ 研修会開催周知（部活動指導員、関係団体等）<br>・5～2月 年間5回実施（5月7月8月11月2月予定） 認定証の発行<br>・3月 次年度計画案策定、周知                                            |
| 指導者の質の確保                             | ・2/12 協議会にて、次年度研修会、指導者育成方針の検討<br>・3/末 次年度研修会計画案確定                                                                                                                         |                | ・4月～ 研修会開催周知（部活動指導員、関係団体等）<br>・5～2月 年間5回実施（5月7月8月11月2月予定） 研修会修了証の発行<br>・3月次年度計画案策定、周知                                                                                                                                                                             | ・4月～ 研修会開催周知（部活動指導員、関係団体等）<br>・5～2月 年間5回実施（5月7月8月11月2月予定） 認定証の発行<br>・3月 次年度計画案策定、周知                                            |
| ・冬季ジブ・チャレンジ期間の取組<br>・部活動アンケート        | ・1/末 部活動アンケート項目抽出<br>・2/1～2/末 部活動アンケート実施<br>・3月 定例教委にて報告                                                                                                                  |                | ・～8月 校長会にて取組意義についての説明、昨年度好事例等の振り返り<br>・11～1月冬季ジブ・チャレンジ期間の実施（ワークブック配布）<br>・2/1～2/末 部活動アンケート実施、まとめ<br>・3月定例教委にて報告                                                                                                                                                   | ・8月校長会にて取組意義についての説明<br>・11～1月冬季ジブ・チャレンジ期間の実施（ワークブック配布）<br>・2/1～2/末 部活動アンケート実施、まとめ<br>・3月 定例教委にて報告                              |
| 生活困窮家庭への参加費補助                        | ・～1/末 要綱修正<br>・2/12 連携協議会修正案提示・決定、起案<br>・3月定例教委修正案報告                                                                                                                      |                | ・4月施行、家庭周知、HP掲載<br>・4月～5月 周知<br>・10月 申請（前期）→照合→交付決定→交付<br>・3月末申請（後期）→照合→交付決定→交付                                                                                                                                                                                   | ・4月～5月 周知<br>・10月申請（前期）→照合→交付決定→交付<br>・3月末申請（後期）→照合→交付決定→交付                                                                    |
| 経過                                   |                                                                                                                                                                           |                | ・4～2月 平日移行を見据えた送迎支援についての協議<br>（課題整理、民間事業者等との協議）<br>・3月 方向性の策定                                                                                                                                                                                                     | ・～9/末 関係団体との協議、次年度試行についての検討<br>・10/末 令和9年度予算計上                                                                                 |

休日学校部活動から地域クラブ活動への移行完了  
夏の大会（コンクール後）  
ゆるやかな公認クラブ連携ネットワーク体制完成総会

平日学校部活動の移行に向けての推進計画案 策定・推進スケジュール策定

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 長野県 諏訪市

自治体名：長野県 諏訪市

担当課名：教育委員会 教育総務課

電話番号：0266-52-4141

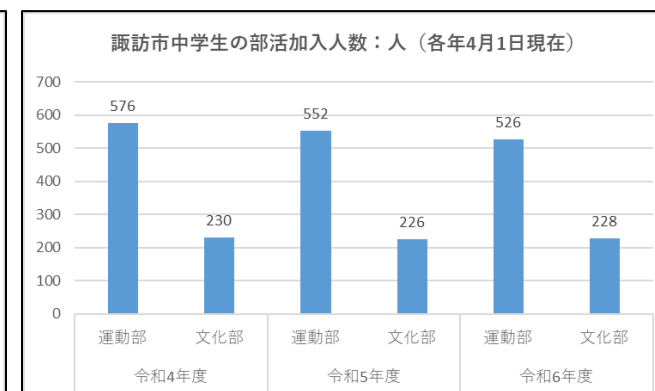
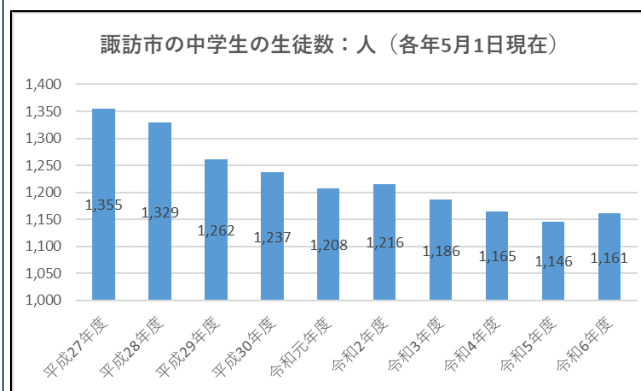
# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 面積                     | 109.91 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 47,130 人               |
| 公立中学校数                 | 4 校                    |
| 公立中学校生徒数               | 1,161 人                |
| 部活動数                   | 38 部活                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                    |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定に向け準備中               |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

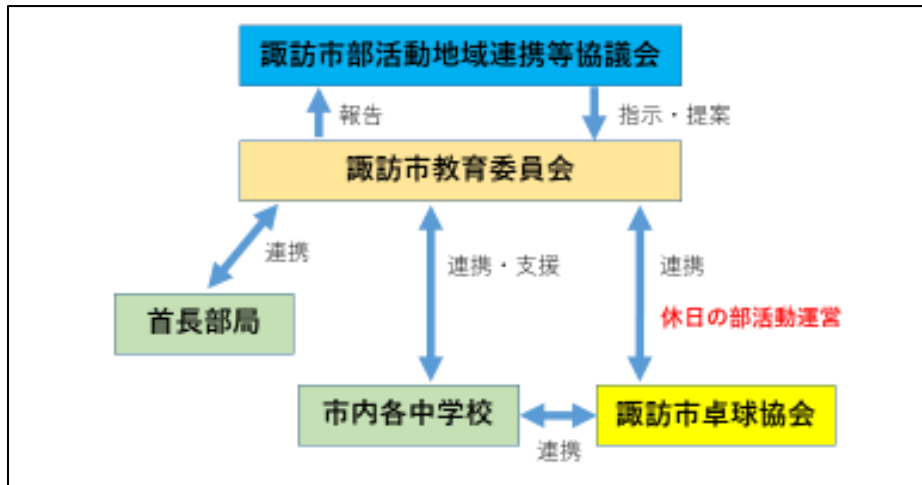
- ・少子化等による生徒数の減少や、加入率の低下などにより、これまでと同様の部活動体制を維持することが困難になっている。また、部活動は教員の勤務時間外の活動が主となることから、学校における働き方改革を求められる中で、指導体制を維持することも難しくなっている。
- ・令和5年度に児童生徒に実施した「市内小中学校における部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート」において、部活動やクラブ等に入っている目的は「興味がある活動のため」や「体力や技術を向上させたいため」、「大会等で良い成績を収めたいため」、「チームワークや協調性、共感を味わいたい」など、生徒が心身ともに健やかにまた、豊かな心に成長していくうえで部活動は重要な活動であり、この活動は生徒のためにも保証していかなければならない。
- ・中学生の生徒が地域でスポーツに親しめる環境構築を進める際の様々な課題に取り組むため、受け入れ態勢の整った「卓球」種目について運営する団体の体制整備、指導者の確保、費用負担など休日の部活動地域移行に向けた実証事業に取り組み、令和8年度末を目途に、休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行完了を目指している。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・諏訪市部活動地域連携等協議会の事務局の運営等。
- ・諏訪市卓球協会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制を構築する。
- ・生涯学習課及びスポーツ課は部活動地域移行の主管課である教育総務課と連携し、各種団体との連携調整を行う。

##### ◎首長部局

- ・地域移行に向けた財政支援。
- ・教育委員会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制構築を目指す。

### 年間の事業スケジュール

令和6年 5月 卓球協会と実証事業に向けた協議

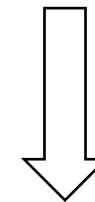
令和6年 7月 卓球協会と実証事業に向けた協議

令和6年 9月 実証事業開始に向けた保護者への  
周知

参加生徒の募集

令和6年10月 卓球協会と実証事業に向けた協議  
各中学校と実証事業に向けた調整

令和6年11月 休日の部活動（卓球）実証事業  
スタート



令和7年 3月 部活動地域連携等協議会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |           |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-----------|
| 中学校数     | 5 校（県立中学校1校含む）                               | 実施した地域クラブ総数 | 1クラブ      |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 1クラブ（2部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | なし        |
| 全体の指導者数  | 25人                                          | 全体の運営スタッフ数  | 3人        |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名    | 運営団体<br>種別  | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数  | 実施時間帯                | 参加者<br>（学年別）       | 実施期間                  | 活動場所                                     | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費    | 大会参加方法                           |
|---------|-------------|-------------------------|-------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------------------------|------|----------------------|-------|----------------------------------|
| 諏訪市卓球協会 | 諏訪市スポーツ協会加盟 | 卓球                      | 週 1 回 | 原則<br>9：00～<br>11：00 | 1年生 22名<br>2年生 30名 | 11月9日<br>～3月31<br>日予定 | ・上諏訪<br>中学校<br>・諏訪中<br>学校<br>・諏訪西<br>中学校 | 25人  | 3 人                  | 現在検討中 | 中体連：各<br>学校部活動、<br>その他：地域<br>クラブ |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 市内にある県立中学校生徒への参加機会の提供
- 卓球部に加入していない生徒への参加機会の提供

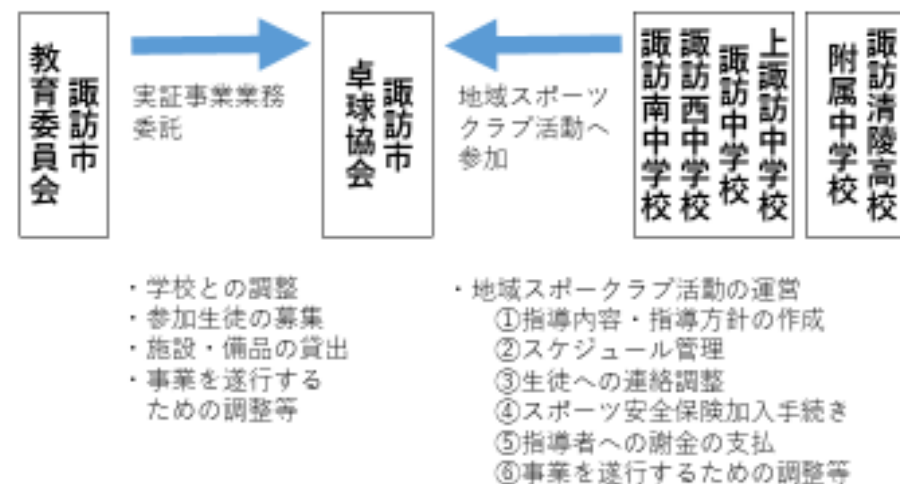
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●部活動地域移行（卓球） 活動概要

|                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 卓球                             |
| 運営団体名           | 諏訪市卓球協会                        |
| 期間              | 11月9日（土）～ 年度末まで<br>毎週土曜日午前中に活動 |
| 指導者の主な属性        | 諏訪市卓球協会会員                      |
| 活動場所            | 上諏訪中学校、諏訪中学校、<br>諏訪西中学校        |
| 主な移動手段          | 徒歩及び保護者による送迎                   |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 保護者負担については検討中<br>大会等はその都度徴収    |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年     |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●統括責任者 1名

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

##### ●統括副責任者 1名

役割：活動における副管理者として、統括責任者を補佐する

##### ●運営補助者（事務） 1名

役割：活動において、運営補助者として主に事務を担う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・諏訪市スポーツ協会の加盟団体である諏訪市卓球協会と実証事業業務委託契約を締結して事業を実施した。
- ・教育委員会において、諏訪市部活動地域連携等協議会を設置した。

##### 取組の成果

- ・中学生の生徒が地域でスポーツに親しめる環境の構築を進める際の様々な課題に取り組んだ。
- ・卓球部顧問の時間外勤務や働き方改革への推進に繋げることができた。
- ・教育総務課と生涯学習課及びスポーツ課が連携し、地域移行が推進できる体制への方策について検討を進めた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・実証事業の進捗状況や課題を検証しつつ、卓球に続く次の種目の展開を模索していく。

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- ・諏訪市卓球協会員による指導者の確保、部活動指導員を地域クラブ指導者として休日にも指導に従事していただいた。

##### 取組の成果

- ・スポーツ団体ガバナンスコード、長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針、長野県地域クラブ活動推進ガイドライン、諏訪市部活動地域移行推進計画を遵守して指導員の質の向上が図られた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・諏訪市が締結している学校法人日本体育大学との連携協定による指導員の相互協力活用し、連携強化を図る。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

- 取組項目名 エ：面的・広域的な取組  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等

#### 取組事項

- ・参加生徒を市立中学校の卓球部員に限定することなく、希望する生徒が参加できる仕組みを構築するとともに、市内県立中学校の生徒の参加も募った。
- ・実証事業初年度については受益者負担なしで実施を開始した。
- ・市内中学校の施設を活用し、実証事業をスタートした。



#### 取組の成果

- ・部活動がない学校の生徒に卓球に親しむ機会を提供することができた。
- ・他校の生徒との交流が図られた。
- ・市内3中学校（上諏訪中学校、諏訪中学校、諏訪西中学校）を活動拠点とし、地域スポーツクラブ活動として実施。
- ・実証事業スタートに際し、環境整備を整えるため、卓球台の整備を行った。
- ・学校施設の貸出等については制限があるが、地域スポーツ活動については部活動に準ずる扱いとし、優先利用、使用料減免の支援を行った。

【上諏訪中学校での活動の様子】

#### 今後の課題と対応方針

- ・活動拠点が3校（上諏訪中学校、諏訪中学校、諏訪西中学校）になるので移動が困難な生徒の移動手段については検討が必要になる。（地域の公共交通サービスやスクールバスの活用なども検討）
- ・コストの検証により、次年度以降持続的に活動することを前提とした仕組みの構築を目指す。
- ・経済困窮世帯については援助制度等について検討。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

受け入れ態勢の整った卓球種目について、諏訪市最初の地域移行として11月より地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の取組をスタートさせた。

#### ●成果の評価及び今後の課題

今後持続して活動していく仕組みや他の競技や種目への展開を図っていくための課題を把握することができた。  
引き続き、実証事業に取り組みながら課題解決に向けた取組を進めていく。

##### 運営団体の体制整備

- ・運営団体の組織体制の構築
- ・コーディネーターの配置

##### 財源の確保

- ・運営費用の確保が必要なため、受益者負担の検討、企業協賛等の活用

##### 指導者の確保、質の向上

- ・信州地域クラブ活動指導者リストの活用、研修の実施

##### 移動手段

- ・保護者送迎、公共交通サービスの活用等

##### 活動場所の確保

- ・施設の確保、セキュリティ・管理

#### ●今後に向けて

- ・部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性の検討（部活動地域連携等協議会における検討）
- ・競技団体等との協力・支援の要請（実施可能な競技や種目による実証事業の実施）

## 2.実証内容と成果②

### 部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果（抜粋）

#### 部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果

##### 趣 旨

部活動の地域移行を進めるにあたり、部活動や地域等で行われているクラブ活動等の加入実態及び児童生徒自身がどのように考えているかを把握するため。

##### 対 象

市立小学校6年生 市立中学校1、2中学生

##### 実施時期

令和5年12月～令和6年1月

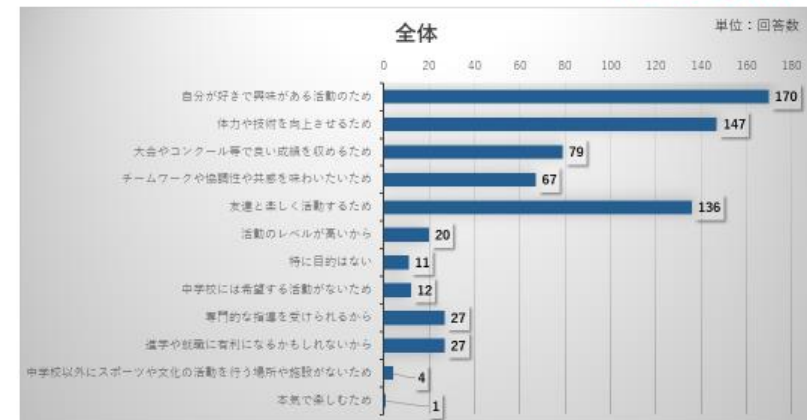
##### 実施方法

Webアンケートフォームにより児童生徒は一人一台端末を用いて回答

##### 回答者数

小学校：344名 中学校：495名

(問) 部活動やクラブ等に入る目的について、次からあてはまるものすべてを選んでください。(複数回答) **小学6年生対象**



(問) あなたは、中学生のときに、スポーツや文化芸術活動にどのように取り組みたいと思いますか。(自由記述) **小学6年生対象**

##### 楽しさと協力:

- ・仲間と一緒に協力して楽しくできればいいなと思っています。
- ・みんなで協力したり、楽しく活動に取り組みたいと考えています。

##### 成績への焦点:

- ・クラブだけいい成績を、出せるように頑張りたい。
- ・大会などで優勝できるように練習に取り組みたいです。少しでもチームに貢献したり、いい成績をのこせるように真剣に取り組みたいです。

##### 真剣さと向上意欲:

- ・真剣に取り組むたい。
- ・技術を向上させたい。
- ・頑張って取り組みたい。
- ・将来の為に、中学で、高校の強豪校に目をつけてもらえる選手になるように取り組みたい。

##### チームワークと共感:

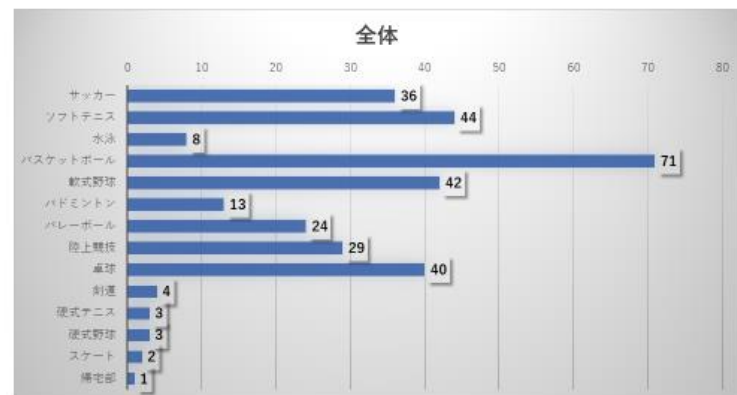
- ・友達と協力して楽しく活動する大切さを考えることができるように取り組みたい。
- ・チームワークを大切に仲間、友達と楽しくバレーボールをやりたい。
- ・チームのみんなと協力して日本1を目指す。

##### 将来志向と目標設定:

- ・自分の目標とする大会で、良い結果が残せるように頑張りたい。
- ・スケートの大会で常に上位にいる選手になりたい。
- ・将来の為に、中学で、高校の強豪校に目をつけてもらえる選手になるように取り組みたい。

271名の児童の回答を傾向によってグルーピングし、その中のいくつかをピックアップした。

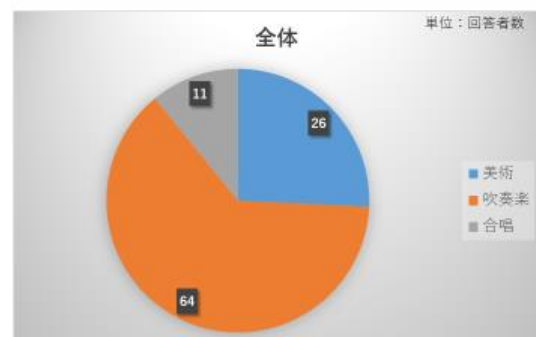
(問) 「運動部に所属している」を選んだ人は、種目等を選択してください。(複数回答) **中学1.2年生対象**



## 2.実証内容と成果③

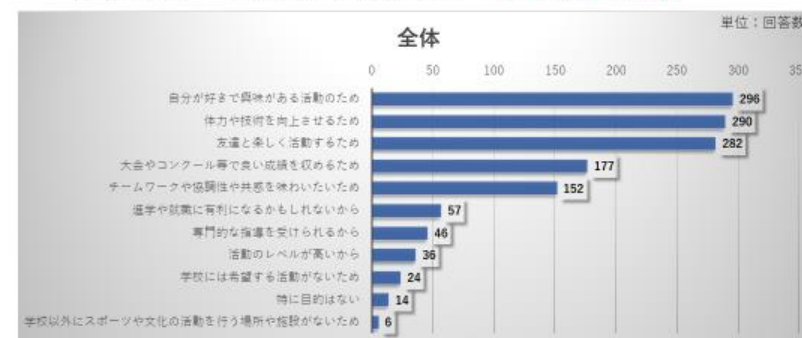
### 部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果（抜粋）

(問) 「文化部に所属している」を選んだ人は、種目等を選択してください。 **中学1.2年生対象**



全ての回答者が単一回答であった。

(問) その部活動やクラブ等に入っている目的について、次からあてはまるものすべてを選んでください。 **中学1.2年生対象**



(その他の意見)

- 兄弟がみんなやっているから。
- 自分の好きなことの向上に繋がれるから
- バスケが好きだから
- 小学生の時からやっていたから続けたかった
- 親に言われたから
- 家族関係
- プロになりたいから
- 自分がうまくなるため

(問) 現在の活動が「このようになればよい」ということがあれば入力してください。 (自由記述) **中学1.2年生対象**

#### 指導とテニスコート整備に関する意見

- ・顧問の先生がいないことが多く、指導が足りないため技術が上がらない。
- ・部活のテニスコートをもう少し整備してほしい。
- ・外部コーチと顧問の意見が統一されていないと感じる。

#### 活動時間と休日練習に関する意見

- ・土日の部活動練習が強制的な雰囲気であり、強制感をなくしてほしい。
- ・休日の練習を減らしてほしい。
- ・休日の部活動開始時間を遅くしてほしい。

#### 部活動への集中度や個々の取り組みに関する意見

- ・話をしている人がおり、コンクールに向けた意欲がバラバラで音にまとまりがない。
- ・部員の中には真剣に活動していない人がいて、それが部活動に悪影響を与えている。
- ・部活の時間や回数を延ばして、より集中的な練習を行いたい。

126名の生徒の回答を傾向によってグルーピングし、その中のいくつかをピックアップした。

(問) あなたは、中学生のときに、スポーツや文化芸術活動にどのように取り組みたいと思いますか。 (自由記述) **中学1.2年生対象**

#### 活動への姿勢と目標設定:

- ・自分なりに考えて活動して、楽しみたい。協力したい。
- ・全力で取り組む。仲間を大切に。楽しく取り組みたい。
- ・技術も上げたいけど、人間面も成長させたい。楽しく協力して強くなりたい。

#### チームワークと協力:

- ・仲間と協力して取り組みたい。みんなで楽しく安全に自由にできるものにしたい。
- ・みんなで活動をして楽しい時もつらいときも仲間と一緒に頑張って助け合いをつけていきたい。
- ・チームの人協力し目標に向かって一生懸命に練習したい。

#### 目標達成と努力:

- ・自分で目標を持って、それに向かって部活動に取り組んでいきたい。
- ・楽しく、でもしっかりと取り組みたい。みんなと仲良くしながら取り組みたい。
- ・県でトップ5に入るために日々の練習から真剣に取り組む。

315名の生徒の回答を傾向によってグルーピングし、その中のいくつかをピックアップした。

## 2.実証内容と成果④

参考資料（令和6年5月1日現在 諏訪市立中学校部活動の部員数）

令和6年5月1日現在 諏訪市立中学校部活動の部員数

| 運動部名   |            | 上諏訪中学校 |    |    |    | 諏訪中学校 |    |    |    | 諏訪西中学校 |    |    |    | 諏訪南中学校 |    |    |    | 文化部等 | 上諏訪中学校 |        |            |    | 諏訪中学校 |    |    |    | 諏訪西中学校 |    |    |    | 諏訪南中学校 |    |    |    |    |    |    |
|--------|------------|--------|----|----|----|-------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|------|--------|--------|------------|----|-------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|
|        |            | 部員数    |    |    |    | 部員数   |    |    |    | 部員数    |    |    |    | 部員数    |    |    |    |      | 部員数    |        |            |    | 部員数   |    |    |    | 部員数    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 1年     | 2年 | 3年 | 計  | 1年    | 2年 | 3年 | 計  | 1年     | 2年 | 3年 | 計  | 1年     | 2年 | 3年 | 計  |      | 1年     | 2年     | 3年         | 計  | 1年    | 2年 | 3年 | 計  | 1年     | 2年 | 3年 | 計  |        |    |    |    |    |    |    |
| 1      | 陸上競技       | 男      | 1  | 3  | 9  | 13    |    |    |    |        | 1  | 2  | 3  | 6      | 1  | 1  | 7  | 9    | 29     | 合唱     | 男          | 2  |       |    | 1  | 3  | 1      |    | 2  | 3  |        |    |    |    |    |    |    |
| 2      | 水泳         | 女      | 3  |    | 1  | 4     |    |    |    |        | 2  |    | 5  | 7      | 3  | 2  | 3  | 8    | 30     | 吹奏楽    | 男          | 2  |       |    | 1  | 3  | 3      |    | 3  | 3  |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        | 2  | 5  | 7  | 7    |        | 女      | 4          | 1  | 1     | 6  | 2  | 2  | 4      | 8  | 2  | 1  | 1      | 4  | 5  | 1  | 5  | 11 |    |
| 3      | 男子バレーボール   |        |    |    |    |       |    |    |    |        | 3  | 3  | 3  | 9      |    |    |    |      |        |        | 5          | 3  | 5     | 13 | 7  | 8  | 10     | 25 | 14 | 12 | 8      | 34 | 12 | 8  | 6  | 26 |    |
| 4      | 女子バレーボール   |        |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 31     | その他音楽      | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 5      | 男子バスケットボール |        |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        | 9  | 3  | 9  | 21   |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 6      | 女子バスケットボール |        | 6  | 8  | 3  | 17    | 8  | 13 | 5  | 26     | 7  | 7  | 1  | 15     | 6  | 6  | 7  | 19   |        | 32     | 美術・工芸・陶芸   | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          | 5  | 2     | 2  | 9  |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 7      | サッカー       | 男      | 4  | 5  | 5  | 14    | 5  | 7  | 3  | 15     | 4  | 2  | 1  | 7      | 15 | 6  | 5  | 26   |        | 33     | 音楽作製・技術・図画 | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        | 7  | 3  | 9  | 19     | 16 | 21 | 10 | 47   |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 8      | 軟式野球       | 男      | 3  | 9  | 4  | 16    | 4  | 7  | 4  | 15     | 3  | 5  | 2  | 10     | 5  | 6  | 12 | 23   |        | 34     | 文芸・読書      | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    | 4  |    | 4     |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 9      | ソフトテニス     | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        | 11 | 10 | 9  | 30   |        | 35     | 理科・数学・環境   | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    | 4  | 5  | 9     |    |    |    |        |    | 13 | 6  | 7      | 12 | 16 | 13 | 41   |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 10     | 卓球         | 男      | 5  | 4  | 9  | 18    |    |    |    |        | 1  | 2  | 6  | 7      | 20 | 15 |    |      |        | 36     | コンピュータ・情報  | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        | 2  | 6  | 7  | 15     |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 11     | 柔道         | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 37     | 演劇         | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 12     | 剣道         | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    | 2  |    | 2      |    |    |    |      |        | 38     | ボランティア     | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        | 1  | 2  | 4  | 7      |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 13     | 相撲         | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 39     | 書写・書道      | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 14     | ソフトボール     | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 15     | 体操         | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 40     | 家庭科（調理・手芸） | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 16     | 新体操        | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 41     | 囲碁・将棋      | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 17     | ハンドボール     | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 42     | 茶道         | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 18     | バドミントン     | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 43     | 英語・国際      | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 19     | スケート       | 男      |    | 1  |    | 1     |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 44     | 人形劇        | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 20     | スキー        | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 45     | その他        | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 21     | アイスホッケー    | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 46     | その他        | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 22     | ボート        | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 47     | その他        | 男  |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 女          |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 23     | ホッケー       | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 文化等部員数 | 男          | 4  | 1     | 1  | 6  | 3  | 2      | 6  | 11 | 2  | 1      | 1  | 4  | 16 | 12 | 7  | 35 |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        | 計      | 女          | 12 | 5     | 8  | 25 | 7  | 8      | 13 | 28 | 25 | 19     | 20 | 64 | 18 | 20 | 17 | 55 |
| 24     | フェンシング     | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        | 計          | 16 | 6     | 9  | 31 | 10 | 10     | 19 | 39 | 27 | 20     | 21 | 68 | 34 | 32 | 24 | 90 |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 25     | カーリング      | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 26     | レスリング      | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 27     | その他        | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 28     | その他        | 男      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      |    |    |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |      |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
| 運動系部員数 |            | 男      | 15 | 25 | 25 | 65    | 12 | 20 | 9  | 41     | 22 | 35 | 24 | 81     | 41 | 49 | 45 | 135  |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 女      | 7  | 13 | 11 | 31    | 5  | 11 | 7  | 23     | 15 | 10 | 19 | 44     | 39 | 34 | 33 | 106  |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |
|        |            | 計      | 22 | 38 | 36 | 96    | 17 | 31 | 16 | 64     | 37 | 45 | 43 | 125    | 80 | 83 | 78 | 241  |        |        |            |    |       |    |    |    |        |    |    |    |        |    |    |    |    |    |    |

### 参考資料



【諏訪西中学校での活動の様子】

## 休日の部活地域移行 体制づくりへ足掛かり 卓球部で試行開始

諏訪市教委 5カ月活動し課題洗い出し

諏訪市教育委員会は、市内中学校が休日に行う部活動の受け皿を地域に移す試行を9日から卓球部で始めた。市卓球協会のメンバーらが指導に当たり、市内2校を会場に4校の卓球部員、体験したい生徒計44人が参加した。来年3月まで5カ月間活動して課題を洗い出し、体制づくりの足掛かりにする。（日比野真由美）

### 4中学から44人参加

市教委は、休日の部活動の受け皿を地域に移す試行を9日から卓球部で始めた。市卓球協会のメンバーらが指導に当たり、市内2校を会場に4校の卓球部員、体験したい生徒計44人が参加した。来年3月まで5カ月間活動して課題を洗い出し、体制づくりの足掛かりにする。（日比野真由美）



卓球協会メンバーの指導で2校の生徒が遊んで練習した＝諏訪西中学校

市教委は、休日の部活動の受け皿を地域に移す試行を9日から卓球部で始めた。市卓球協会のメンバーらが指導に当たり、市内2校を会場に4校の卓球部員、体験したい生徒計44人が参加した。来年3月まで5カ月間活動して課題を洗い出し、体制づくりの足掛かりにする。（日比野真由美）

市教委は、休日の部活動の受け皿を地域に移す試行を9日から卓球部で始めた。市卓球協会のメンバーらが指導に当たり、市内2校を会場に4校の卓球部員、体験したい生徒計44人が参加した。来年3月まで5カ月間活動して課題を洗い出し、体制づくりの足掛かりにする。（日比野真由美）

【実証事業スタート時の新聞記事】

## 2.実証内容と成果⑥

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●実証事業（卓球）の検証

- ・実証事業における課題を検証し、持続可能な運営の構築を目指す。

#### ●部活動地域連携懇談会における検討

部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性を総合的に検討し、実現に向けた協議を行う。

・

#### ●地域クラブ活動への移行に向けた調整

- ・競技団体等との懇談や調整を踏まえ、協力・支援の要請を行い、実施可能な他競技や他種目による実証事業を実施していく。
- ・実施が見通せた協議や種目ができた段階で、学校や顧問と調整する。
- ・保護者や生徒への十分な説明を踏まえ、地域移行を開始していく。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

| 令和7年度                                                                                                                                                | 令和8年度                                                                                                                                                     | 令和9年度                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・『卓球競技』による実証事業の継続実施</li><li>・地域クラブ活動移行に向けた検討・準備</li><li>・各競技団体へアプローチして、課題・支援策の検討（可能な競技から順次、地域移行を進める）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・長野県の指針改定、平日の移行方針を参考に当市の平日移行を検討</li><li>・地域クラブ移行に向けた進捗状況を市民等へ情報発信</li><li>・年度末までにすべての休日部活動を地域クラブ活動に移行を目指す</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・段階的に平日部活動の地域クラブ活動への移行を目指す</li></ul> |

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 長野県 須坂市

自治体名：長野県須坂市

担当課名：須坂市教育委員会学校教育課

電話番号：026-248-9010

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 面積                     | 149.67 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 49,265 人               |
| 公立中学校数                 | 4 校                    |
| 公立中学校生徒数               | 1,246 人                |
| 部活動数                   | 28 部活                  |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                    |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                    |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

須坂市は、生徒数が減少傾向で推移している。

2023年10月1日現在の推移表から見ると2020年度の生徒数は1,349人、2029年度の生徒数は1,165人と推測されている。10年間で13.6%、184人が減少する見込みとなっている。また、長野県の毎月人口移動調査では、2024年4月1日現在の須坂市の0歳児は268人と発表されている。この0歳児が中学生になる2036年度は、2020年度の一学年の人数が450人に対し、約4割減少することになる。

今後、チームで競技するスポーツは一つの学校だけでは編成が厳しくなることが予想される。

また、教職員業務の負担軽減を図るため、教員業務支援員、部活動指導員等を配置するなど、働き方改革を推進してきたが、教職員に求められる新たな課題も多く、勤務時間の縮減が進んでいない。小学校と比較して、中学校の教職員の時間外勤務が多いのは、部活動指導や大会引率等が要因の一つであると推測されている。

教職員の部活動指導について、アンケート調査をしたところ、約8割の教職員が時間的、精神的に負担になる、専門的な指導ができず生徒のニーズに応えられていないと考えている現状がある。

須坂市の2029年までの生徒数の推移（2023年10月1日推移表から）

| 年度   | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024  | 2025  | 2026  | 2027  | 2028  | 2029  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 中学生数 | 1,349 | 1,332 | 1,304 | 1,263 | 1,276 | 1,286 | 1,291 | 1,271 | 1,213 | 1,165 |

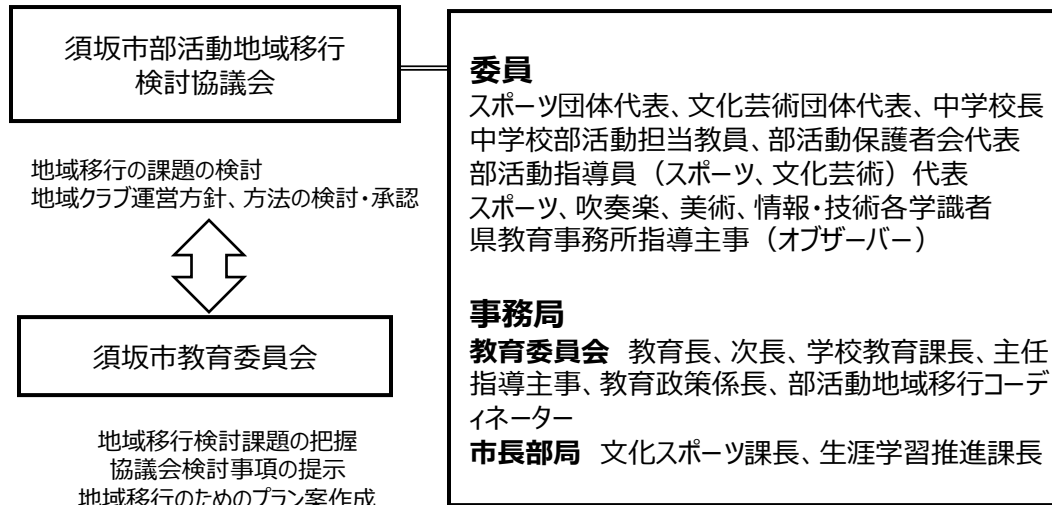
須坂市内小中学校教職員の一人当たりの月平均時間外勤務時間数（単位：時間/人）  
（須坂市教育委員会教職員時間外勤務時間数調査から）

|     | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 小学校 | 39.8   | 40.2   | 38.8   |
| 中学校 | 42.6   | 50.4   | 45.7   |
| 全 体 | 39.8   | 42.0   | 40.1   |

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ●教育委員会（学校教育課）

部活動地域移行の推進に関すること  
市内中学校との連絡、調整に関すること  
須坂市部活動地域移行検討協議会に関すること

##### ●首長部局（文化スポーツ課、生涯学習推進課）

スポーツ団体、文化芸術団体との連絡調整に関すること  
スポーツ施設、文化施設等の管理に関すること

### 年間の事業スケジュール

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 令和6年4月  | 地域クラブ活動（陸上）実施            |
| 令和6年5月  | 第1回協議会                   |
| 令和6年7月  | 地域クラブ（サッカー、男・女バレー、）実施準備  |
| 令和6年8月  | 第2回協議会                   |
| 令和6年9月  | 地域クラブ活動（男子バレー）開始         |
| 令和6年10月 | 地域クラブ活動（女子バレー）開始         |
| 令和6年11月 | 地域クラブ活動（サッカー）開始          |
| 令和6年12月 | 地域移行周知チラシ配布              |
| 令和7年2月  | 地域移行について市広報へ掲載<br>第3回協議会 |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |              |
|----------|----------------------------------------------|-------------|--------------|
| 中学校数     | 4 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 4 クラブ        |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 4 クラブ（12 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 0 クラブ        |
| 全体の指導者数  | 2 2 人                                        | 全体の運営スタッフ数  | 2 人          |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名             | 運営団体種別   | 種目    | 実施回数  | 実施時間帯              | 参加者<br>(学年別)               | 実施期間                   | 活動場所             | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>(他クラブと兼務) | 会費                           | 大会参加方法                            |
|------------------|----------|-------|-------|--------------------|----------------------------|------------------------|------------------|------|----------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 須坂AC             | 須坂市教育委員会 | 陸上    | 月 1 回 | 8：00<br>～<br>10：00 | 1年 30人<br>2年 34人<br>3年 26人 | 2024.4<br>～<br>2025.3  | 東中学校             | 8 人  | 2 人<br>(内、兼務 2 人)    | 月会費 0 円／<br>年会費800円<br>(保険料) | 中体連：部活動、リレー地域クラブ<br>その他：部活動、地域クラブ |
| 須坂クラブ<br>(男子バレー) | 須坂市教育委員会 | 男子バレー | 月 1 回 | 午前中                | 1年 16人<br>2年 7人            | 2024.9<br>～<br>2025.3  | 常盤中学校<br>墨坂中学校   | 5 人  | 2 人<br>(内、兼務 2 人)    | 月会費 0 円／<br>年会費800円<br>(保険料) |                                   |
| 須坂クラブ<br>(女子バレー) | 須坂市教育委員会 | 女子バレー | 月 1 回 | 午前中                | 1年 10人<br>2年 10人           | 2024.10<br>～<br>2025.3 | 相森中学校<br>高山中学校   | 6 人  | 2 人<br>(内、兼務 2 人)    | 月会費 0 円／<br>年会費800円<br>(保険料) |                                   |
| 須坂クラブ<br>(サッカー)  | 須坂市教育委員会 | サッカー  | 月 1 回 | 午前中                | 1年 4人<br>2年 6人             | 2024.11<br>～<br>2025.3 | 相森中学校<br>北部グラウンド | 3 人  | 2 人<br>(内、兼務 2 人)    | 月会費 0 円／<br>年会費800円<br>(保険料) |                                   |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

●なし

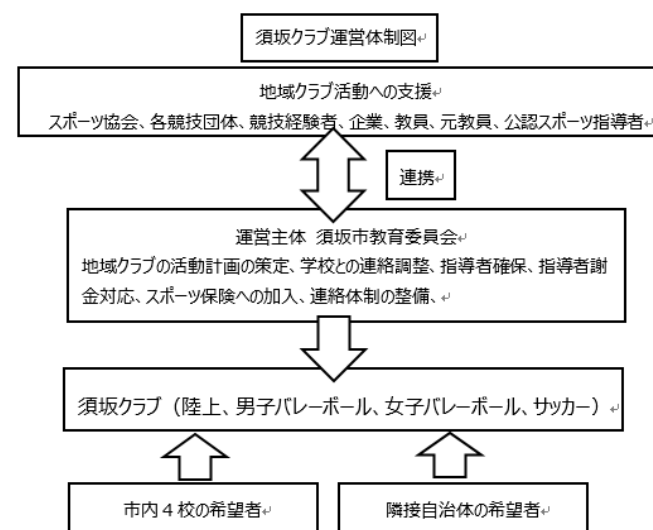
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●須坂クラブ 活動概要

|                 |                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 陸上、男子バレーボール、女子バレーボール、サッカー                                                                                         |
| 運営団体名           | 須坂市教育委員会                                                                                                          |
| 期間と日数           | 陸上：4月1日～3月31日<br>月1回程度<br>男子バレー：9月29日～3月31日<br>月1回程度<br>女子バレー：10月26日～3月31日<br>月1回程度<br>サッカー：11月30日～3月31日<br>月1回程度 |
| 指導者の主な属性        | 競技団体会員、競技経験者、部活動指導員、部活動外部指導者、教員                                                                                   |
| 活動場所            | 学校施設、社会体育施設                                                                                                       |
| 主な移動手段          | 徒歩、自転車、保護者の送迎                                                                                                     |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 0円                                                                                                                |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年                                                                   |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●統括責任者

役割：活動における管理者として、指導者、学校、保護者との連携を行う

##### ●代表指導者 競技ごと1名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

##### ●指導者

役割：活動において、代表指導者と連携して、指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

総括コーディネーターを1名配置し、関係団体・学校・企業・指導者等との連絡調整・指導助言等を行う。

- 競技団体等との連携を深め、運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な組織体制の整備を行う。
- 参加者管理、会費徴収、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整、会計業務等にアプリの活用の検討を行う。

##### 取組の成果

- 総括コーディネーターを運営団体に配置したことにより、関係団体への地域移行の説明、協力依頼、連絡調整等を円滑に行い、多方面から指導者の確保ができた。（須坂指導者の特性のとおり）
- 各学校の部活動運営委員会やPTA総会等で地域移行の進捗状況や今後の予定等を随時説明し、周知を図ることができた。
- 可能な限り地域クラブ活動へ参加し、活動状況を把握する中で、指導者と効果的な連携を図ることができた。
- lineのオープンチャットを活用し、参加者への連絡、活動状況の報告を行い、保護者も随時活動状況を把握することができた。今後は会費徴収機能も持つ地域クラブ用のアプリの導入を進めていく予定

須坂クラブ指導者の属性  
教員 7人  
部活動指導員 5人  
部活動外部指導者 3人  
競技団体会員 4人  
プロ選手 1人  
公認スポーツ指導者 2人

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

総括コーディネーター

- ・可能な限り各クラブを巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施
- ・協議会の調整等を実施し、関係団体との連携に努めた
- ・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施

##### 今後の課題と対応方針

- スポーツ協会、各競技団体のほか、部活動指導員や外部指導者、兼職兼業を希望する教員、企業関係者、公認スポーツ指導者、競技・活動経験のある者など、様々な関係者から専門性や資質・能力を有する指導者を確保するとともに、地域のスポーツ団体等との連携を深め、協力を得ながら、指導者の発掘・把握に努め、持続可能な運営体制の確立に努める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 実績のある部活動指導者（顧問、部活動指導員、外部指導者）に地域クラブの指導者としてかかわれるかどうかを聞きとり、希望者に指導を依頼した。
- 各競技団体や現地域クラブ指導者に指導適任者の紹介を依頼し、指導者の質や数の確保を図った。
- 総括コーディネーターを中心に指導適任者の情報収集に努めた。

須坂クラブ指導者の属性  
教員 7人  
部活動指導員 5人  
部活動外部指導者 3人  
競技団体会員 4人  
プロ選手 1人  
公認スポーツ指導者 2人

種目  
陸上競技  
男子バレー  
女子バレー  
サッカー

##### 取組の成果

2024年度は、指導者の公募は行わず、スポーツ団体の指導者のほか、部活動指導員や外部指導者、退職教員、兼職兼業を希望する教員等、また、企業関係者、公認スポーツ指導者、競技経験のある者などの情報を集め、様々な関係者から専門性や資質・能力を有する指導者を確保することができた。

指導者の確保については、更に増員を図りたいと考えているので、公募することも検討していきたいが、競技団体等から実績のある者を紹介いただいたことにより、確かな指導力のある者を確保することができたことから、次年度以降も引き続き競技団体等と連携を深めていきたい。

また、企業にも指導者として適任者がいることが確認できたため、来年度は更に企業の協力を得られるように呼び掛けていきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 学校と連携して進めていくため、中学校校長会やPTA総会、部活動運営委員会等において、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施。
- 各競技団体の理解と協力を得るため、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施。

##### 取組の成果

- 学校との連携を進めるため、校長会やPTA総会、部活動運営委員会等で進捗状況や今後の予定を説明するとともに、市広報への掲載や関係者にリーフレットを配布し、本市の取組及び今後の見通し等の周知を図った。各校の部活動運営委員会は、校長、教頭、各部活動顧問、部活動指導員、保護者代表が参加する会議であり、そこで、部活動地域移行の進捗状況や今後の予定を説明することができ、連携と周知を深めることができた。
- 各競技団体の理解と協力を得るため、各競技団体の役員等に本市の取組及び今後の見通し等の説明を行い、連携体制の構築を図ることができた。

##### 今後の課題と対応方針

部活動の地域移行は、学校との連携が大事であると考えており、今後、円滑に地域移行が進むように、各中学校の校長、教頭と細部について打ち合わせを行い、その中で出た意見、課題に対応しながら地域移行を進めていく。併せて、これまで同様にスポーツ協会や各競技団体等と情報を共有する中で連携を深めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

○市内4中学校の参加者を1会場に集めて地域クラブ活動を行った。  
 ○陸上と女子バレーボールは隣接する町、村の参加希望者と一緒に活動した。

##### 各自治体の役割

○須坂市教育委員会  
 ・地域クラブ運営、予算管理  
 ・関係機関との連絡、調整  
 ・理解促進に向けての広報  
 ・諸謝金等の事務処理  
  
 ○隣接町・村教育委員会  
 ※試行のため、須坂市教育委員会で対応

##### 移動手段

○自分で自転車や徒歩で来るか、保護者の送迎となっている。  
 ○送迎バスの導入を検討したが、経費が高額になるため、乗り合い制度の導入等検討中

##### 事務局運営の方法

○須坂市教育委員会にクラブ事務局を設置  
 ○総括コーディネーターが関係団体等との連絡調整を実施  
 ○他市町村の参加者は会費を割り増しで徴収することについて検討中

##### 取組の成果

○地域クラブ活動に参加した生徒は、陸上競技で90名、うち2名、女子バレーボール20名、うち7名が活動エリア外の参加で、参加したい全ての生徒を受け入れた。  
 ○地域クラブ規約を協議会で規約案を協議し、他市町村の生徒も入会できるものとした。

##### (入会資格)

第4条 地域クラブに入会する者は、地域クラブの目的に賛同し、地域クラブの定める諸規定を遵守しなければならない。  
 2 前項に規定するほか、地域クラブに入会する者は、次に掲げる要件のいずれかを備えていなければならない。  
 (1) 須坂市内に在住する中学生又は中学部生  
 (2) 須坂市内の学校に在籍する中学生又は中学部生  
 (3) 前2号のほか、地域クラブへ入会を希望し、会長が入会を認めた中学生  
 (地域クラブ「須坂クラブ規約案」抜粋)

##### 今後の課題と対応方針

○市外の生徒であっても、希望すれば、地域クラブへ参加できるように考えている。市外の参加者は会費を増額するなど制度面を検討する。  
 ○広域での運営についても検討していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定や、公的資金のバランスについて検討を行なった。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■ランニングコストの分析

- ・指導者謝金（7,920千円）
- ・事務局人件費（3,300千円）
- ・消耗品費（100千円）
- ・参加者保険料（668千円）
- ・指導者保険料（92千円）
- ・通信費（100千円）

計 12,180千円

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

休日1日のみ活動した場合  
参加者会費（月1,000円）  
4～7月 834人3,336千円  
8～3月 552人4,416千円  
スポーツ保険  
834人 668千円

- ・休日1日、3時間活動
- ・指導者50人
- ・謝金1,100円/時
- ・参加者は前年度実績により算定

##### 収支バランス

##### 地域クラブ会費等収入

|        |              |                           |
|--------|--------------|---------------------------|
| 参加者会費  | 3,336,000 円  | 1,000 円× 834 人× 4 月（4～7月） |
|        | 4,416,000 円  | 1,000 円× 552 人× 8 月（8～3月） |
| 参加者保険代 | 667,200 円    | 800 円× 834 人              |
| 負担金計 B | 8,419,200 円  |                           |
| B - A  | -3,668,000 円 |                           |

##### 地域クラブ運営経費等支出

|        |              |                                |
|--------|--------------|--------------------------------|
| 事務局費   | 3,500,000 円  | 職員人件費（給与・共済費）、消耗品、通信費等         |
| 指導者謝金  | 7,920,000 円  | 1,100 円× 3 時間× 50 人× 4 週× 12 月 |
| 参加者保険代 | 667,200 円    | 800 円× 834 人                   |
| 指導者保険代 | 0 円          | 円× 50 人                        |
| 経費計 A  | 12,087,200 円 | 1,007,267 円 / 月                |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

地域クラブは、参加者からの会費等によって自立的な運営を行い、将来にわたって持続可能な活動を実施するため、参加者による費用負担を原則とする。

しかし、生徒が経済的理由によって活動参加をあきらめることがないよう、会費については、可能な限り参加しやすい金額を設定できるように検討した。

運営経費と会費収入の様々な例を試算し、その結果を須崎市部活動地域移行検討協議会で示し、検討を行い、来年度の会費額及び指導者謝礼額を決定することができた。

また、困窮家庭への支援についても協議会で他市町村の例を踏まえて協議会の中で検討した。

保護者の負担の軽減を図り、子どもたちが多様なスポーツ活動や文化芸術活動に参加する機会の充実に資するという目的のもと、地域クラブに参加する者の保護者で、生活保護世帯と就学援助世帯の認定がある者は、申請により会費を全額減免することに決定した。

##### 今後の課題と対応方針

生活保護、就学援助費を対象とした会費減免のための要綱を策定し、地域クラブの保護者に減免対象者、内容及び申請方法等を周知する。

会費は来年度以降も可能な限り参加しやすい金額を設定する

よう努める。

今後も持続可能な地域クラブづくりのため、企業や関係者から協賛金を募るなど財源の確保のための仕組みづくりについて検討していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

活動場所については、地域の学校、公共スポーツ施設、社会教育施設等を確保する。

学校施設の利用方法については、部活動に代わる新たな地域クラブも学校部活動と同様の利用方法とすることを決定した。

##### 取組の成果

須坂市の部活動に代わる新たな地域クラブは、これまでの部活動を継承した活動を行っていくことに協議会の議論を経て決定した。

生徒の心身の成長に配慮して健康に生活が送れるよう須坂市中学校の部活動運営に係る方針に定める休養日及び活動時間に沿って活動を実施することとした。（平日は週4日、2時間以内、休日は土曜日または日曜日どちらか1日で3時間以内の活動）

よって学校施設の利用方法は、部活動に代わる新たな地域クラブも学校部活動と同様の利用方法にすることに決定した。

##### 今後の課題と対応方針

学校施設を優先的に利用することについて、他の社会体育のチームなどに理解いただくように周知していく。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

本市においては、国のガイドラインの策定を受け、2023年4月に「須坂市部活動地域移行検討協議会」を設置し、部活動の地域移行に向けて、検討を開始した。

メンバーは、スポーツ団体・文化芸術団体代表、中学校部活動担当教員、部活動保護者会代表、部活動指導員、スポーツ、文化芸術関係の各学識者等とし、それぞれの立場から意見を出し合い、課題について協議しながら地域移行を進めてきている。

中学生にとってより良いスポーツ、文化芸術環境の確保するという目的達成のため、須坂市教育委員会が地域クラブの運営主体となることに決定した。

須坂市教育委員会では、2024年5月に「須坂市部活動地域移行推進計画」を策定し、これに基づき、地域移行を進めている。

今年度は、運営体制の整備に努め、団体等に説明と協力依頼を行い、連携体制の確立を図った。また、会費の額及び徴収方法、指導者謝金等、運営方法の検討と4競技において地域クラブ活動に取り組み、計画どおり地域移行を進めることができた。

#### ●成果の評価

須坂市教育委員会が部活動に代わる新たな地域クラブの運営主体となることが決定したことから、須坂市教育委員会では、協議会での協議を経て、2024年5月に「須坂市部活動地域移行推進計画」を策定し、これに基づき、地域移行を計画どおり進めることができています。

運営体制の整備に取り組み、各団体等へ説明と協力の依頼をし、概ねご理解をいただいた。指導者を確保するため、指導者の紹介をお願いしたり、指導適任者の情報収集に努め、指導者を確保することができた。

運営方法の検討にも取り組み、須坂地域クラブの規約案、運営方針案、会費の額及び指導者謝金額について、協議会の承認を得ることができた。（正式決定は、2025年10月に予定する地域クラブ総会での議決による）

地域クラブ活動は、陸上、男子・女子バレーボール、サッカーの4競技の試行を実施し、2025年度の地域移行に向けた準備試ができた。

また、学校、生徒、保護者への説明、周知のため、校長会、PTA総会、学校部活動運営委員会などで進捗状況やこれからの予定について説明するとともにチラシや広報でも周知を図ることができた。

#### ●今後に向けて

2025年10月に予定する地域クラブ設立総会に向けて、生徒、保護者への周知を図りながら6月には参加希望者を募り、各競技で試行を行い、地域クラブ活動に円滑に移行できるように努めていく。、学校や指導予定者との連携は、不可欠であるので、情報の共有を図りながら準備を進めていきたい。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

地域クラブ活動に関するアンケート

あなたが参加している地域クラブの活動内容に満足していますか。

| 満足している | どちらかといえば満足している | 満足・不満足どちらとも言えない | どちらかといえば満足していない | 満足していない |
|--------|----------------|-----------------|-----------------|---------|
| 30.6%  | 30.6%          | 22.4%           | 8.2%            | 8.2%    |

地域クラブ活動に関するアンケート

来年度も地域クラブ活動へ参加したいですか。

| 参加したい | どちらかといえば参加したい | わからない | どちらかといえば参加したくない | 参加したくない |
|-------|---------------|-------|-----------------|---------|
| 46.9% | 14.3%         | 18.4% | 12.2%           | 8.2%    |

2024年度須坂市教育委員会地域クラブ活動に関する参加者アンケートから

#### ●参加者の声

##### 中学生

いつも同じ人達と練習しているより、多くの人達と練習出来ていて楽しいです。先生方の考え方もとても良いと思うので、時々練習メニューを厳しくして欲しいです。

##### 中学生

他校の生徒とも活動ができ、有意義だと思います。高校に進学してからも知っている子がいると心強いと思います。

##### 中学生

コーチの数を増やしてほしい。

##### 指導者（など）

指導者の報酬について、現在の部活動指導員の時給1600円を最低ラインとして、少しでも上乗せできるように考えてもらえるとうれしい。

##### 指導者

指導員の方々の負担にならないよう今後に繋がっていけるような地域クラブ活動にしたいと思います。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

須坂市が運営主体となり体制整備を進めている学校部活動に代わる新たな地域クラブの内容や今後の推進計画について児童生徒、保護者及び部活動指導者などに周知するため、広報資料を作成し、配布した。【中学生及び小学5・6年生への啓発チラシ】

須坂市教育委員会からのお知らせ

2024年12月19日

**2025年度から段階的に休日の部活動の地域移行が始まります**

2022年12月にスポーツ庁と文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、部活動地域移行の方針が示されました。須坂市では、これを受け、2023年4月に「須坂市部活動地域移行検討協議会」を設置し、部活動に代わる地域クラブの運営方法等について検討を行ってきました。協議会での検討の結果、須坂市教育委員会が部活動に代わる新たな地域クラブ（以下「地域クラブ」とします。）の運営を担うことになり、2024年6月に須坂市部活動地域移行推進計画を策定しました。

**部活動地域移行のスケジュール**

**2024年度** 地域クラブの体制整備  
各団体等への協力依頼、指導者の確保、クラブ規約の策定、会費・指導者謝金等の検討

**2025年度**  
体制が整った種目・活動毎に順次休日の部活動を地域クラブへ移行（移行期間）

**2026年度**  
年度末までに休日の部活動をすべて地域クラブへ移行

※平日の部活動は、休日の部活動の地域移行の状況を確認し、できるところから地域移行していきます。

須坂市部活動地域移行検討協議会で検討し、地域クラブの目指す姿を策定しました。

**「部活動に代わる新たな地域クラブの目指す姿」**

地域クラブ活動は

- 1 地域での活動や交流等を通して、仲間づくりや人間関係の構築を図り、社会性や協調性を育むことに努める。
- 2 生徒が主体的に取り組むことができるように努める。
- 3 専門性の高い知識や技術の習得のみならず、活動の楽しさ、達成感、向上心への達成感、努力することの尊さを実感できる活動に努める。
- 4 地域と連携を密にし、専門的な指導者の確保に努める。
- 5 生徒と指導者、関係者等との交流等の促進により、地域のスポーツ・文化芸術活動の振興に努める。

指導者は

- 1 生徒の主体性を尊重する。
- 2 生徒との十分なコミュニケーションを図り、生徒一人一人のレベルや心身の成長に応じて、丁寧な指導に努める。
- 3 無理のない活動日数や時間及び学校生活に配慮した活動に努める。
- 4 指導者研修などにより、専門性の高い指導の維持に努め、合理的かつ効果的・効果的な練習の導入に努める。
- 5 生徒の心身の健康管理、事故防止を徹底し、体罰・ハラスメントを根絶する。

#### 部活動地域移行、地域クラブに関するQ&A

##### Q1:地域クラブの運営主体はどうなりますか

→部活動は学校が運営主体ですが、地域クラブは須坂市教育委員会が運営主体となります。

##### Q2:地域クラブの種目・活動は、どんなものがありますか

→現在市内中学校にある部活動の種目・活動を予定しています。

##### Q3:2025年度の部活動はどうなりますか

→平日の部活動は、今までどおり変わりありません。休日にも部活動を行います。月に数回は地域クラブとして活動するようになります。（2026年度末までには、休日の活動はすべて地域クラブの活動となります。）

月の活動例(部活:部活動 地域:地域クラブ活動 休:休み)

| 日 | 月  | 火  | 水 | 木  | 金  | 土  |
|---|----|----|---|----|----|----|
| 休 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 |
| 休 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 地域 |
| 休 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 |
| 休 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 地域 |

##### Q4:いつから休日の地域クラブが始まりますか

→種目や活動により異なりますが、2025年7月頃から全種目・活動で地域クラブを始める予定です。

##### Q5:地域クラブの指導者はどのような方ですか

→競技・活動の経験者、指導経験のある方、部活動の顧問、部活動指導者など、様々な関係者の中から「部活動に代わる新たな地域クラブの目指す姿」を理解して指導していただける方にお願いしていきます。部活動の指導者と地域クラブの指導者が同じ場合もあります。

##### Q6:地域クラブに参加しないといけないのですか

→参加は自由意思です。参加しなくても問題ありません。所属している学校部活動と同じ種目・活動でも、異なる種目・活動や学校にはない部活動でも地域クラブに参加できます。また、複数の地域クラブに参加することもできます。

##### Q7:保護者の負担はどうなりますか

→地域クラブ運営に係る経費は、参加者による費用負担を原則とします。会費は可能な限り参加しやすい金額を設定できるように協議会で検討していきます。また、生徒が経済的理由によって活動への参加をあきらめることがないよう、支援制度についても検討を行います。活動場所までの送迎については、ご負担をおかけする場合があります。

※部活動地域移行の詳細については、須坂市ホームページ「須坂市部活動地域移行検討協議会」→「須坂市部活動地域移行推進計画」をご覧ください。

須坂市教育委員会学校教育課 ☎026-248-9010(課専用)

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

須坂市が運営主体となり体制整備を進めている学校部活動に代わる新たな地域クラブの内容や今後の推進計画について市民へ広報で周知した。

**どうなる？  
須坂市の「部活動に代わる新たな地域クラブ」**

市では、スポーツ・文化活動関係者や学校、保護者などで構成する「須坂市部活動地域移行検討委員会（以下、協議会）」を設置し、須坂市の部活動に代わる新たな地域クラブ（以下、地域クラブ）の検討を行っています。現在までに運営主体・運営形態などを決定し、引き続き、体制整備に向けた検討を行っています。

**Q 地域クラブの運営主体は？**  
A 部活動は学校が運営主体ですが、地域クラブは須坂市教育委員会が運営主体となります。

**Q 地域クラブの運営方針は？**  
A 生徒が活動に主体的に取り組む、仲間づくりや人間関係の構築、社会性や協調性を育むことに努めます。また、専門性の高い知識や技術の習得だけでなく、活動の楽しさ、上達したことへの達成感、努力することの喜びを実感できる活動に努めます。

**Q 地域クラブの種目・活動は？**  
A 現在市内中学校にある部活動の種目・活動を予定しています。  
【予定種目・活動】▼バレーボール

**Q 保護者の負担はどうなる？**  
A 地域クラブ運営に係る経費は、参加者による費用負担を原則とします。会費は可能限り参加しやすい金額を設定できるように協議会が検討していきます。また、生徒が経済的理由によって活動への参加を諦めることがないよう、支援制度を検討します。活動場までの送迎は、自己負担をおかけする場合があります。

**Q 地域クラブの指導者は？  
どのような人？**  
A 競技・活動の経験者、指導経験者、部活動の顧問、部活動指導者など、さまざまな関係者の中から地域クラブの運営方針を理解して指導いただける方をお願いしています。部活動の指導者や地域クラブの指導者が同じ場合もあります。

**Q 地域クラブ活動の早期実現に向けて、指導者・協力者として地域の皆様のご支援・協力をお願いいたします。**

▼バスケットボール▼ソフトテニス  
▼剣道▼卓球▼サッカー▼陸上▼吹奏楽▼合気道▼柔道▼技術▼特学

**2025年度から段階的に  
部活動の地域移行が始まります**

問合せ 学校教育課 (☎ 026-248-9010)

**須坂市の部活動地域移行のスケジュール**

「須坂市部活動地域移行推進計画」に基づき、まずは2026年度末までに、休日の部活動を地域クラブへ移行していきます。

**2024年度 … 地域クラブの体制整備**  
各団体などへの協力依頼、指導者の確保、クラブ規約・規則・運営方針などの策定、地域クラブ会費・指導者謝金などの検討、地域クラブの試行

**2025年度 … 体制が整った種目・活動から順次、休日の部活動を地域クラブへ移行**  
体制が整った種目・活動から順次、休日の部活動のうち、月に数回の活動を、地域クラブとして活動するようになります。  
平日の部活動は、今までと変わりません。

| 月の活動例<br>(部活：部活動 地域：地域クラブ活動 休：休み) | 日  | 月  | 火  | 水 | 木  | 金  | 土  | 日  |
|-----------------------------------|----|----|----|---|----|----|----|----|
| 休                                 | 部活 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 | 部活 |
| 休                                 | 部活 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 | 部活 |
| 休                                 | 部活 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 | 部活 |
| 休                                 | 部活 | 部活 | 部活 | 休 | 部活 | 部活 | 部活 | 部活 |

**2026年度 … 年度末までに、休日の部活動を全て地域クラブへ移行**  
※平日の部活動は、休日の部活動の地域移行の状況を確認し、できるところから地域移行していきます。

● ● 須坂 2025年2月号

スタート

**部活動を取り巻く現状**

少子化に伴う部員数の減少が進む中、学校部活動はこれまで同様体制で運営するとは全開に難しくなっています。市でも、2021年度からの10年間で、生徒数が16%減少する見込みで、チームで競技するスポーツや団体で活動を行う文化系の活動などは一つの学校だけでは継続が難しくなることが予想されています。既に、他校と合同部活動を実施している活動や、合同部活動を検討している活動もありです。また、専門性や意思に關らず教員が関わる指導体制が、教員の負担となっている実態もあり、学校の働き方改革が進む中、これまでの体制を維持することは、より一層難しくなっています。

こうした状況の中、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保にわたって確保していくため、「地域の子供は、学校を含めた地域で育てる」という考えの下、部活動を取り巻く現状

少子化や教員の働き方が社会関係化する中、2025年12月、国は学校で行っている部活動を、地域と連携しながら地域で支える地域クラブ活動に移行させていく「部活動地域移行」の方針を示しました。これを受けて市では、2024年5月に「須坂市部活動地域移行推進計画」を策定し、現在、部活動地域移行の体制整備を進めています。須坂市における部活動に代わる新たな地域クラブの概要、今後の部活動地域移行スケジュールなどをお知らせします。

**須坂市の生徒数の推移  
(2024年10月1日推計値より)**

活動の地域移行が関係全体で進められています。

■教員による部活動指導の状況(須坂市部活動地域移行に関するアンケート結果より)

専門外で指導している 67.5%

専門として指導できる 32.5%

須坂 2025年2月号 ● ●

出典:2025年2月須坂市報掲載

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【ミーティング中（サッカー①）】



【練習方法に関する指導（陸上）】



【ミニゲーム（サッカー②）】



【チーム対抗リレー団結声かけ（男子バレー）】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、  
検討開始

受け皿団体や  
指導者の選定  
現状の把握、情  
報共有

令和6年

推進計画策定、  
競技団体との連携、  
学校・生徒・保護  
者への周知

指導者の確保  
生徒、保護者へ  
の説明

令和7年

地域クラブ活動  
の開始（移行期  
間）

令和8年

地域クラブ活動  
の拡大

#### ●ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体  
市長部局、市教委、総括コーディネーター

#### ●経過

令和4年度より須坂市部活動地域移行検討協議会を設置し、部活動に代わる新たな地域クラブについて検討してきた。中学生にとってより良いスポーツ環境を確保するという目的を達成するため市教育委員会が運営主体となることが決定した。

#### ●実施内容

協議会では、それぞれの立場から意見を出し合い、協議した。先進地視察、アンケート調査、部活動見学等を行い、生徒、保護者、教員の声をしっかり把握し、検討を行った。

陸上競技において、地域クラブ活動の試行を実施した。地域クラブのグランドデザインを策定し、指導者及び参加者がグランドデザインに基づき、活動を行った。

#### ●ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体、生徒、保護者

#### ●経過

部活動地域移行の推進計画を策定し、地域移行を進めた。競技団体に指導者の紹介を依頼するとともに、現在の部活動指導者に地域クラブへ指導への意向を伺い、指導者の確保を図った。校長会や各校の部活動運営委員会などで地域移行の進捗状況や今後の予定を説明した。

#### ●実施にあたって生じた課題

指導者の確保は課題であり、持続可能な体制を作るのは難しい。

#### ●実施内容、工夫した点 等

コーディネーターを中心に指導適任者の情報収集に努め、直接指導をお願いした。

#### ●ステークホルダー

学校、生徒、保護者、スポーツ協会、競技団体

#### ●実施予定内容

令和7年度は、休日の部活動を順次地域クラブへ移行する移行期間とする。10月には地域クラブ設立総会を開催し、以降は月2回以上は休日に地域クラブを実施することを目標とし、令和8年度の休日の完全移行に向けて準備する。

令和8年度末までに休日の部活動の地域クラブへの完全移行を行う。

平日の部活動は、休日の移行の状況を検証し、できるところから移行していく。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

#### 須坂市部活動地域移行のスケジュール

2023年度

2024年度

2025年度

2026年度

協議会設置、検討開始

運営主体、運営形態の決定、  
試行開始

運営主体の体制整備

休日の地域クラブ活動の開始

休日部活動を地域クラブへ完全移行

- 4月に須坂市教育委員会で部活動地域移行検討協議会を設置した。
- 協議会の委員構成は、スポーツ団体・文化芸術団体代表、校長会代表、中学校部活動担当教員、部活動保護者会代表、部活動指導員、スポーツ・吹奏楽・美術・情報・技術の各有識者等とし、情報の共有を図りながら検討を行った。
- 協議会事務局には、学校教育課に加え、文化スポーツ課・生涯学習推進課を加え、連携体制の充実を図った。
- 協議会では、それぞれの立場から課題を出し合い、協議した。
- 児童生徒、保護者、教員の声の把握のため、アンケート調査を行った。

- 部活動地域移行検討委員会で、課題の把握と対応方法の検討、先進地視察、アンケート調査を行い、部活動に代わる地域クラブの運営方法等の検討を行った。
- 中学生にとってより良いスポーツ、文化芸術環境を確保するという観点から検討を行い、部活動に代わる新たな地域クラブの運営主体は須坂市教育委員会、運営形態は運営主体である須坂市教育委員会が地域団体等と連携しながら地域クラブの運営を行っていくことに決定した。
- 地域クラブ（陸上競技）の試行を実施した。グランドデザインを作り、共有する中で活動を行った。

- 協議会での検討の継続
- 運営主体の体制整備
- ・各団体等への協力依頼
- ・財源の確保
- ・指導者の確保
- ・運営方法の検討・決定
- 地域クラブ規約・運営方針、会費の額及び徴収方法、指導者謝金、会場への移動、拠点施設の決定・確保、保護者への支援
- 学校、生徒、保護者への説明、周知
- 地域クラブ（陸上競技）試行を継続実施するとともに、男・女バレー、サッカーの試行を行った。

- 協議会での検討の継続
- 2025年度は休日の部活動を体制が整った種目・活動毎に順次地域クラブへ移行していく。（移行期間）
- 10月地域クラブ設立総会実施
- 2026年度末までに休日の部活動の地域クラブへの完全移行を行う。
- 平日の部活動は、休日の部活動の地域移行の実施状況を検証し、できるところから地域移行していく。

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 長野県 飯山市

自治体名：長野県 飯山市

担当課名：教育委員会事務局スポーツ推進課

電話番号：0269-67-0746

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 面積                     | 202 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 18,521 人            |
| 公立中学校数                 | 2 校                 |
| 公立中学校生徒数               | 415 人               |
| 部活動数                   | 10 部活               |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                 |

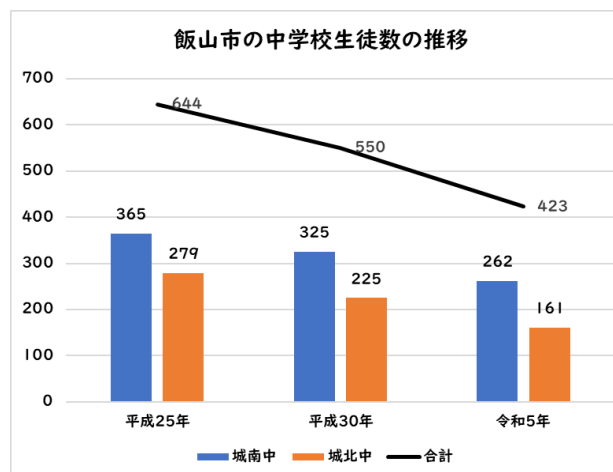
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、飯山市にある中学校 2 校は、両校合わせて 10 種目の運動系部活動がある。ここ 10 年間の生徒数の推移をみると、200 人以上の生徒が減少していることがわかる。少子化に伴い、種目数の維持や部員確保が難しくなっている。単独ではチームを組めず、近隣の村の中学校との合同チーム活動している部活動もある。また、夏の大会終了後から部員が不在となり、休部の状態になっている部活動もある。その他、部員数はいるが、部員の男女のバランスが偏り、女子は団体戦が組めないなどの状態の部活動もあり、学校単位で部活動を維持していくことは

難しくなっている。この状況は少子化とともに、ますます進んでくると思われる。

昨年度の中学校教員の時間外勤務時間をみると、時間外勤務時間は減ってきてはいるものの 6 月がピークになっている。これは部活動の夏季大会が開催される時期と重なり、部活動指導にかかわることが、時間外勤務時間が増える原因にもなっていることがうかがえる。

昨年度行ったアンケートの中で、部活動に所属しない生徒の理由を聞くと、入りたい部活動がなかったという理由が最も多かった。生徒のニーズに合った活動を保証していく必要がある。



### 【課題】

ここ 10 年間で 200 名以上生徒の減少がみられる。今後もこの傾向は続くと考えられ、部活動を維持していくことも難しいことが予想される。



スポーツ庁

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |           |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-----------|
| 中学校数     | 2校                                           | 実施した地域クラブ総数 | 1クラブ      |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 1クラブ（1部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | クラブ       |
| 全体の指導者数  | 22人                                          | 全体の運営スタッフ数  | 1人        |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名           | 運営団体種別    | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数 | 実施時間帯      | 参加者<br>（学年別）              | 実施期間  | 活動場所       | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費             | 大会参加方法               |
|----------------|-----------|-------------------------|------|------------|---------------------------|-------|------------|------|----------------------|----------------|----------------------|
| みゆき野ジュニアクラブ卓球部 | 飯山市スポーツ協会 | 卓球                      | 月4回  | 9:00～12:00 | 1年 12名<br>2年 15名<br>3年 4名 | 4月～3月 | 城南中<br>城北中 | 22人  | 1人                   | 年会費<br>10,000円 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 7月 バスケットボールU-15スクール体験会
- 8月 陸上部合同練習会

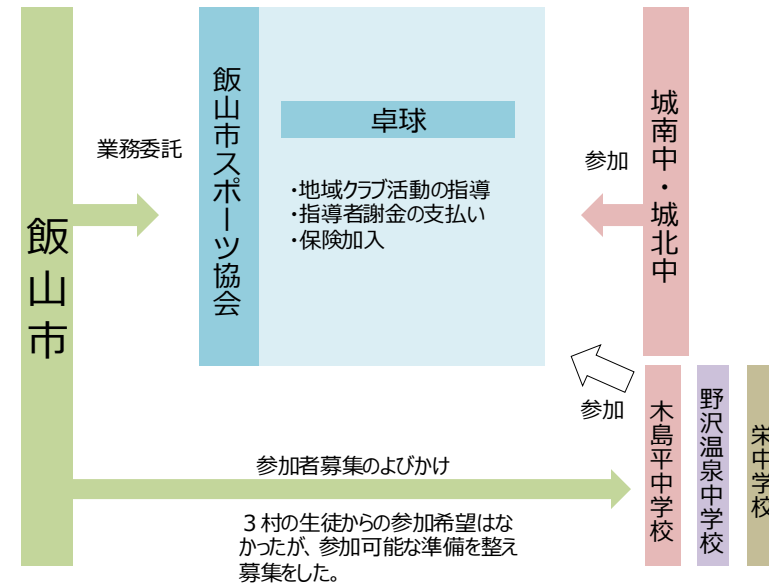
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●みゆき野ジュニアクラブ 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 卓球                                              |
| 運営団体名           | みゆき野ジュニアクラブ卓球部                                  |
| 期間と日数           | 4月13日～3月29日<br>月4回程度                            |
| 指導者の主な属性        | スポーツ協会卓球部員                                      |
| 活動場所            | 城北中学校、城南中学校                                     |
| 主な移動手段          | 保護者の送迎                                          |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 卓球 10,000円/年                                    |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●主任指導者 1名

役割：活動における主任者として、学校、保護者との連携や生徒への指導を行う

##### ●運営補助者 1名

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○広域的な活動を行う統括コーディネーターを1名配置し、関係団体・他村との連絡調整・指導助言等を行う。

○運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

##### 取組の成果

○統括コーディネーターを教育委員会に配置し、スポーツ協会所属の指導者の謝金の精算や保険加入に関わる連絡等を行った。スポーツ協会の業務の負担軽減につながった。

○スポーツ協会に所属する競技団体の中心となる指導者と学校部活動の受け皿となる団体の立ち上げに向けて協議を行った。令和7年度当初から新たに1種目が休日部活動の地域移行を本格実施することが決まった。

○みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会の立ち上げに向け、規定や規約の整備、ガイドラインの策定など関係団体や近隣の教育委員会と協議を重ね、発足することができた。

##### みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会組織

会長 飯山市スポーツ協会 会長

副会長 岳北4市村 教育長

岳北4市村中学校長

飯山市芸文教会

飯山市公民館長

運営委員 各種目

顧問代表者

指導者代表者

事務局 事務局長 統括コーディネーター

栄村教育委員会事務局

野沢温泉村教育委員会事務局

木島平村教育委員会慈雨局

飯山市スポーツ協会事務局

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

・各種目の指導責任者・顧問代表者・村の事務局と地域クラブ立ち上げに向けた課題等のヒアリング・助言等を実施

・協議会の立ち上げに向け、4市村の教育長・スポーツ関係団体・事務局等と協議を実施

##### 今後の課題と対応方針

●定期的に協議会を開催し、現状を共有し、課題解決に向けた協議を行う。

●地域クラブの立ち上げや持続的な運営が可能となるような支援を検討し、予算化などの対応について協議する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

○近隣の3村（木島平村・野沢温泉村・栄村）の中学生徒も対象にして、募集することとした。  
 ○エリアについては、目安であり、他エリアへの参加も自由としたこととした。  
 ○持続可能な活動になることも考慮し高校生との合同練習を行った。

##### 各自治体の役割

○飯山市教育委員会  
 ・地域クラブ運営、予算管理  
 ・関係機関との連絡、調整  
 ・理解促進に向けての広報  
 ・諸謝金等の事務処理  
 ○受け皿となる地域クラブ立ち上げにあたって、各村の教育委員会も同席し、意見や情報の共有を行った。

##### 移動手段

○スクールバスの活用を考えたが、運転手の不足・費用面での負担・全ての部活動の受け皿が整わず全体像がまだ見えてこないなど様々な要因により、実現できていない。保護者の送迎をお願いしている。

##### 事務局運営の方法

○飯山市教育委員会にクラブ事務局を設置。  
 ○総括コーディネーターが関係団体等との連絡調整を実施。  
 ○今後地域連絡協議会で、それぞれの市村の負担について検討していく。

##### 取組の成果

○みゆき野ジュニアクラブ卓球部所属は市内2校の中学校より32名が参加し、通年休日部活動を地域クラブで活動した。  
 ○モデルケースである卓球部を参考に、他種目でも検討を重ね、令和7年度当初から新たに剣道部が、通年休日部活動を地域クラブで活動できる目途がついた。  
 ○バスケットボールの体験会で木島平村の生徒や児童も参加し、広域的な取り組みができた。

##### 今後の課題と対応方針

○さらに受け皿となる団体を増やし、令和8年9月には部活動を地域クラブ活動へ移行する。  
 ○平日の部活動との連携が課題。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

○地域クラブにかかる会費を1年間1万円として設定し、会費の妥当性や徴収方法などについて、検討する。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■スポーツ活動費

・卓球部においては、学校を練習会場とすることで、学校備品の活用ができ支出を抑えることができた。また、学校の使用ができなかった場合の他会場の利用料は、減免し支援した。

##### ■事務運営費

指導にかかる報酬の支払い・保険の加入手続き事務をスポーツ協会に依頼した。スポーツ協会の事務費については、市が支援することで、保護者の負担軽減を図った。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

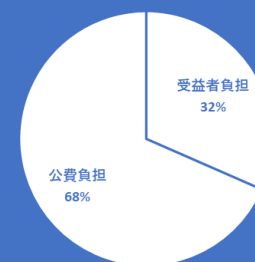
活動月数12か月 生徒数32名で3月末までの試算

|           |           |
|-----------|-----------|
| スポーツ活動費総額 | 801,600   |
| 受益者負担額    | 月額 2,088  |
|           | 年額 25,050 |

今年度みゆき野ジュニアクラブ卓球部の総支出のうちスポーツクラブ活動費を学年関係なく均等割りして受益者負担とすると、左のようになった。年額にすると今年度の2.5倍程度の負担が必要となる。

##### 収支バランス

総支出に占める収入の割合



今年度みゆき野ジュニアクラブ卓球部の総支出に占める受益者負担額は32%であった。このまま少子化が続くとその割合は下がり、公的資金なしでは持続可能な運営は難しい。運営を見直す必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

○年間通して、地域クラブ活動に係る必要経費について算出してみた。  
今年度は、市内2校の部活動をそのまま受け継ぐ形で、地域クラブ活動を行った。活動時には指導者2名体制で指導にあたることとした。各回最低4名の指導者が必要で、継続的に月4回の指導を12か月行うために、指導者の登録数も多くする必要性が生じ、保険料もその分必要となった。

支出の7割は指導者への謝金が含まれ交通費も合わせると、8割ほどとなった。受益者負担の総額は、278,000円で、総支出額に占める割合は、30%ほどである。今後、2校で活動していた地域クラブをまとめて一つにすることで、謝金や交通費の支出は約半分程度となることが見込まれる。一方消耗品は学校のものを使うことで費用を抑えることができた。事務局運営費については公費負担とし、その他の費用を独自で賄えるよう会費の設定が必要と思われる。

| 項目           | 費用      | 割合  |
|--------------|---------|-----|
| スポーツ活動費      | 736,100 | 83% |
| 謝金           | 625,000 | 71% |
| 会場使用料        | 600     | 0%  |
| 消耗品費         | 0       | 0%  |
| 交通費          | 76,500  | 9%  |
| 雑役務          | 34,000  | 4%  |
| スポーツ活動費（保険料） | 65,500  | 7%  |
| 生徒           | 24,800  | 3%  |
| 指導者          | 40,700  | 5%  |
| 事務局運営費       | 80,000  | 9%  |

みゆき野ジュニアクラブ卓球部 経費  
令和6年4月から令和7年3月までの予測

##### 今後の課題と対応方針

○会場の使用料の減免や学校の施設を利用することで、備品や消耗品の支出を抑えることができた。今年度保護者負担は1・2年生は年1万円、3年生は活動期間が短いことから、2千円とした。生徒の数や所属する学年の生徒の構成により、年度ごとの会費の総額も流動的で、持続の可能性を考えたときに、今後ますます少子化が進む中、継続して運営していくこ

とは難しいことが予想される。低廉な受益者負担を求めたうえで、少なからず行政の支援などが必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の見直し

**資料** 新体制で地域クラブ活動を行った時の受益者負担の試算

| 項目      | 費用      |
|---------|---------|
| スポーツ活動費 | 431,000 |
| 謝金      | 310,000 |
| 会場使用料   | 36,000  |
| 消耗品費    | 0       |
| 交通費     | 50,000  |
| 雑役務費    | 35,000  |
| スポーツ活動費 | 45,000  |
| 生徒      | 25,000  |
| 指導者     | 20,000  |
| 事務局運営費  | 50,000  |

一人当たりの負担額の試算（部員30名均等割り）

|                              | 月額    | 年額     |
|------------------------------|-------|--------|
| 全額受益者負担                      | 1,461 | 17,533 |
| スポーツ活動費のみ全額負担<br>（指導者保険料も除く） | 1,267 | 15,200 |

今年度みゆき野ジュニアクラブ卓球部は、2中学校の部活動をそのまま受け継ぐ形で、活動してきた。拠点を一つにまとめることにより、必要となる指導者の数が減り、謝金の支出が抑えられる。

今年度の会費は、年額1万円（3年生は2千円）であった。それに比較すると自身の保険料を含めて、1.5倍程度の負担をいただくことで、独自で運営できると思われる。ただし均等割りした上に、年度によって部員数が変動することから考えると、今年度の2倍程度は負担が生じてくると思われる。少子化が進むとさらに負担は重くなると予想される。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施した。

##### 取組の成果

○学校施設を利用することにより、備品や消耗品など新たに購入する必要もなく、支出を抑えることができた。また、学校が使えない場合は、市内の体育施設を使用して練習を行ったが、中学校休日部活動の地域クラブ移行に伴う活動については、使用料の一部を減免することとし、費用負担の軽減を図った。

○学校の配慮により、地域クラブが活動する曜日と時間を固定し、地域クラブが優先的に学校施設を利用することが可能となった。これにより、地域クラブの継続的な活動を図ることができた。

##### 今後の課題と対応方針

○実証事業の活動日に部活動も行われている。引き続き、学校や教育委員会に部活動と実証事業の活動が競合しないよう、事業趣旨の理解等を求める。

○今後、部活動の地域移行に伴い、地域クラブ活動の拠点となる学校体育施設を利用しやすい環境を整えるため、学校体育施設の利用調整に係る業務を担っていく必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

今年度で2年目となったみゆき野ジュニアクラブ卓球部を中心に実証事業を行った。競技指導について飯山市スポーツ協会に業務委託という形をとっているが、事務処理はスポーツ協会の通常業務に加え地域クラブの運営まで担うとなると負担も大きい。そこで、事務処理の役割分担を見直し、謝金や交通費の精算やとりまとめは統括コーディネーターが行い、保険の加入と支払業務のみを委託することとした。

また、部活動地域移行がいわれてきた当初から懸案であった地域連絡協議会を立ち上げることができた。規約や規定、ガイドラインも策定し、今後は関係者が集まり、広域的に連携しながら部活動の地域移行に向けた協議を行うことが可能となった。

地域クラブの種目の拡大にも取り組み、受け皿となり得る競技団体代表者等との協議を行い、令和7年度当初から新たに剣道部が、地域クラブとして休日の活動を行う準備を整えることができた。しかし、指導者不足や平日と休日の活動の連携などが課題となりいまだに立ち上げのめどが立たない部活動もあり、関係者と立ち上げに向けた協議を重ねる必要がある。

#### ●成果の評価

広域による地域連携協議会の発足をまず一つ目の目標に掲げ取り組んだ。当初8月をめどに計画していたが、近隣の村（木島平村・野沢温泉村・栄村）との調整に時間がかかり、令和7年1月に立ち上げ総会を開催し発足することができた。規約や規定、ガイドラインも整備し、今後その機能を発揮し課題解決を図っていく。

二つ目の目標であった移行する部活動の拡大については、卓球・野球・バスケットボールの3つの部活動を予定していた。卓球部は昨年に続き活動できた。また、野球部は独自の団体が受け皿となり、令和6年度から活動を開始した。バスケットボール部は、指導者の確保や活動内容の在り方等に課題があり、地域クラブへの移行に向けて、引き続き、協議を重ねることとなった。このほかの種目でも、受け皿となり得る競技団体代表者等との協議を行い、令和7年度当初から新たに剣道部が、地域クラブとして休日において活動することとなった。また、体験会を開催したり、具体的な検討を行うなど、新たな競技種目の移行に向けた協議を進めている。

#### ●今後に向けて

##### ○地域連携協議会の機能の強化

部活動の地域クラブ移行にかかわる指導者の確保や移動や会費の負担軽減などの課題について定期的に協議し、必要な公的支援などについても検討する。

##### ○移行する部活動の拡大

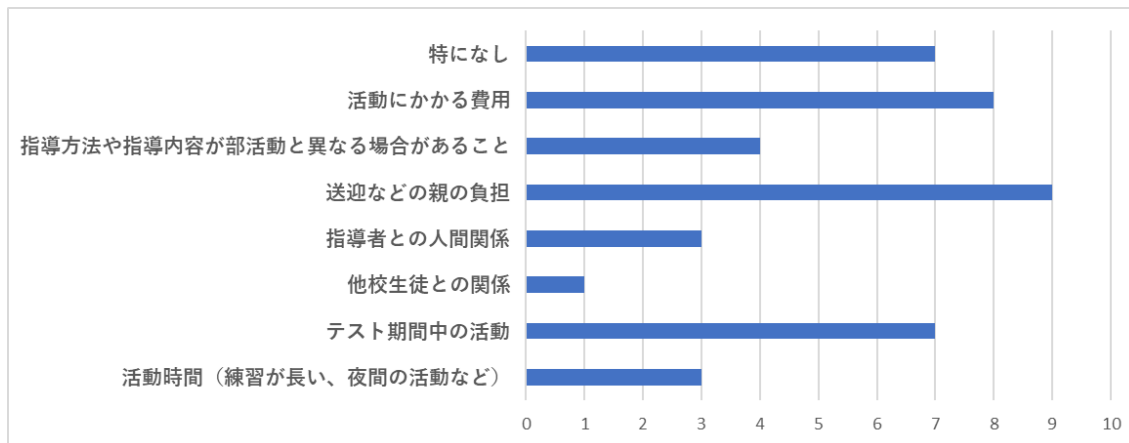
令和7年度はすべての部活動において試行期間を1か月から2か月程度設け、地域クラブ活動を実施する予定である。試行を通し、課題をより明確にし、協議会等で検討し、令和8年度9月の休日部活動の地域クラブへの移行の完全実施を目指す。

## 2.実証内容と成果②

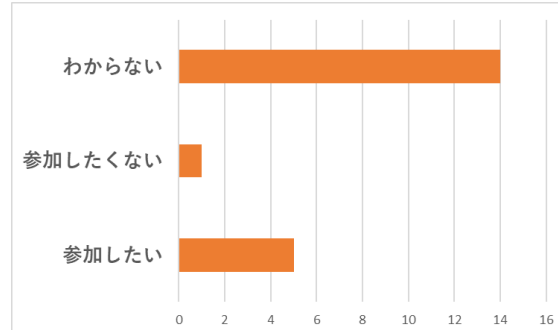
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果 飯山市卓球部生徒アンケート（実施期間：令和7年2月）の結果抜粋

Q.1 休日部活動を地域クラブが行うことについて不安なことを3つまで選んでください。



Q.2 休日部活動を地域クラブが岳北4市村の広域で行った場合、考えを聞かせてください。



みゆき野ジュニアクラブ卓球部の所属生徒に聞いてみた

#### Q1

令和5年度に同様の質問をしている。1年間継続して地域クラブの活動を行ってきているが、不安な中身には変化はみられない。費用や送迎などの親の負担への不安が多い。

保護者への理解協力を呼びかけるとともに、負担軽減の取り組みを明確にして説明していくことが必要であると感じる。

#### Q2

今年度みゆき野ジュニアクラブ卓球部の加入を近隣の村にも呼び掛けたが、加入希望はなく、部活動をそのまま受け継ぐ形で地域クラブの活動を行った。大会等で他校の生徒との交流はある程度あるが、共に活動することにイメージを持ってない生徒が多い。令和7年度は2中学校に加え近隣の村からの生徒を交えて活動することを予定している。立ち上げの指導を丁寧に行っていくことが必要だと感じる。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

部活動地域移行の理解を図るため、中学校部活動改革だよりを作成し、中学校及び小学校6年生に配布した。特に移行に一番かかわる小学6年生の保護者には中学校説明会に合わせて説明をし理解を図った。

地域クラブへの移行に向けた体験会を陸上部とバスケットボール部において開催した。陸上部は飯山高校陸上部との合同練習を行った。また、バスケットボールでは学校に部活動がない近隣の村からの参加者もあった。

**岳北4市村**

### 中学校部活動改革だより

みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会の立ち上げ

令和7年1月14日（火）中学校部活動の地域クラス移行に向け協議と連携を行う、「みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会」が立ち上がりました。この会は、スポーツ・文化芸術活動を行う団体・学校・教育委員会により組織されます。

会では、役員選出・規約規定の承認・部活動地域移行ガイドラインの検討等が行われました。

**【役員組織】**

|      |                                                         |
|------|---------------------------------------------------------|
| 会 長  | 飯山市スポーツ協会会長                                             |
| 副会長  | 4市村の教育長 4市村中学校長                                         |
| 運営委員 | 飯山市芸術文化協会会長<br>該当種目の顧問代表者<br>該当種目の指導者代表者<br>該当種目の保護者代表者 |
| 事務局  | 4市村教育委員会<br>4市村スポーツ協会<br>4市村芸術文化協会                      |

**【目的】**

部活動を地域で展開することは、現在の子どもや教職員の抱える問題を解決するだけでなく、地域全体のスポーツ・文化芸術活動の振興につながる。子どもが中学校の部活動でスポーツ・文化芸術活動を終えることなく、大人になってもその活動に関わるようになることで、スポーツ・文化芸術活動に親しむ人の循環が生まれ、持続可能な社会の実現を目指す。

**部活動の地域クラブ移行推進スケジュール**

令和8年9月には全ての部活動において、休日部活動を地域クラブに移行する。平日については、受け皿となる団体が準備でき次第、平日部活動も地域クラブに移行する。

**推進計画**

**【令和6年度】**

- みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会設立
- 体験会の開催
- 種目別部会開催

**【令和7年度】**

- 休日部活動の地域クラブ移行についての説明会
- 休日部活動の地域クラブ移行の試行
- 種目別保護者会の開催

**【令和8年度】**

- 種目別保護者総会
- 休日部活動の地域クラブ完全移行（9月）

**今年度開催された体験会**

**陸上競技**

令和6年8月17日（土）  
会場：タカギセイコーふもと公園  
飯山市内中学校と飯山高校陸上部との合同練習

**バスケットボール**

令和6年7月7日（土）14日（土）  
会場：飯山小学校  
2・3月にも中学生や小学校6年生を対象にスクールを開催する予定

**英会話・イラスト**

令和6年10月  
地域で公民館活動を行う団体に、飯山市の中学生希望者に向けて実施

問い合わせ先  
飯山市教育委員会事務局スポーツ推進課  
担当：江守 義和  
電話：0269-67-0745

バスケしよ!!

## 飯山BBC U15 school

開催場所：飯山市民体育館

開催日  
2月16日 9:00 - 12:00  
3月2日16日30日 9:00 - 12:00

中学生 対象  
小6生  
参加費無料  
※怪我等に備え保険に加入します

中学生及び小学校6年生対象のバスケットボール体験会です。バスケットボール部員に限らず、バスケットボールに興味のある中学生や小学校6年生なら誰でも参加可です。

保護者の方より、右のQRコードをスマホにダウンロードし、必要事項を入力して参加申し込みください。

問合せ先：飯山市教育委員会  
スポーツ推進課 担当：江守 TEL:0269-67-0745

【バスケットボール体験会】

## 2.実証内容と成果④

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体

市村教委、総括コーディネーター、指導責任者

#### 経過

令和5年度より指導者がある程度そろい比較的設置しやすい卓球部をモデルケースとし、実施上の課題や費用面での問題を検証してきた。検証結果をもとに、受け皿となる地域クラブを広げ、令和8年9月までに休日部活動を地域クラブに移行する活動指針を策定した。令和6年度は、運営団体とコーディネーター、指導者、行政等で組織する連携協議会を設置し、クラブ活動の運営マニュアルや指導の手引きの作成を進めた。

#### 実施内容

みゆき野ジュニアクラブ卓球部の競技指導を飯山市スポーツ協会に委託した。指導にかかる事務処理については、謝金や交通費の支払い・保険加入の手続きのみを委託することとし、派遣実績の報告やとりまとめについては総括コーディネーターが行うよう令和6年度から見直した。

#### 実施にあたって生じた課題

○種目によっては指導者の不足が大きな課題として指摘されている。より広域で指導者を探していく必要があるが、どの市村も人材が豊富とは言えず、今後の課題である。

○広域で実施するにあたり、公共交通機関が十分整備されていない当地域において、移動手段の確保を保護者・学校から求められている。それぞれの種目の拠点を決め、どのようにしたらよいか検討が必要である。

○チームスポーツにおいて平日と休日の連携をどのようにしたらよいか・大会参加をどうしたらよいか等の問題でなかなか地域移行に踏み出せない種目もある。

#### 今後の展開

令和8年9月からは、すべての種目において、休日の地域クラブ活動を毎週実施する。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、適切な会費負担をお願いしていく。保護者の理解を得るために、地域クラブの紹介やパンフレットを作成し、会費負担の必要性について説明する。

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 長野県 塩尻市

自治体名：長野県塩尻市

担当課名：学校教育課

電話番号：0263-52-0280

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 面積                     | 290 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 65,869 人            |
| 公立中学校数                 | 6 校                 |
| 公立中学校生徒数               | 1,602 人             |
| 部活動数                   | 17 部活               |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済                 |

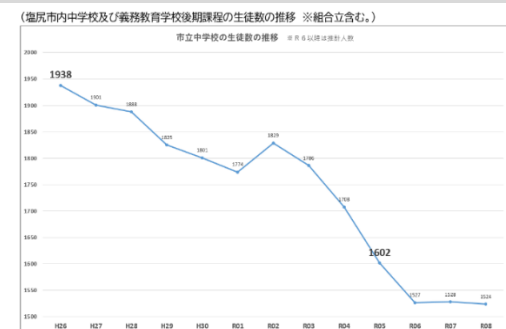
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

塩尻市の現状としては、各学校単独で部活動をしている種目と近隣の学校と合同で部活動をしている種目があり、令和 6 年度は現状のまま活動した。

部活動地域移行の推進状況としては、令和 5 年度に塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を設置し、令和 6 年 6 月に塩尻市中学校部活動地域移行計画を策定した。長野県の方針に沿い、令和 8 年度末までに休日の部活動を地域に移行するという目標を掲げ、塩尻市独自の取り組みとして「対話」を重点に置いて今後の検討を進めた。「スポーツ・文化芸術活動運

営委員会」「種目別地域移行検討会」「塩尻市中学校部活動地域移行等協議会」の 3 つの対話を経て塩尻市に合った地域移行の形について検討を進めた。

「種目別地域移行検討会」では各種目ごとに地域移行の課題が異なるものもあり、それぞれの種目に特化した課題・共通した課題などを確認した。塩尻市が今後部活動の地域移行を進める上で共通の課題としている点については「指導者確保」「地域クラブの運営」「会場確保」「移動手段」を挙げ、これらを解決していくための具体的な策を展開していく必要がある。



出展：第 1 回種目別地域移行検討会資料

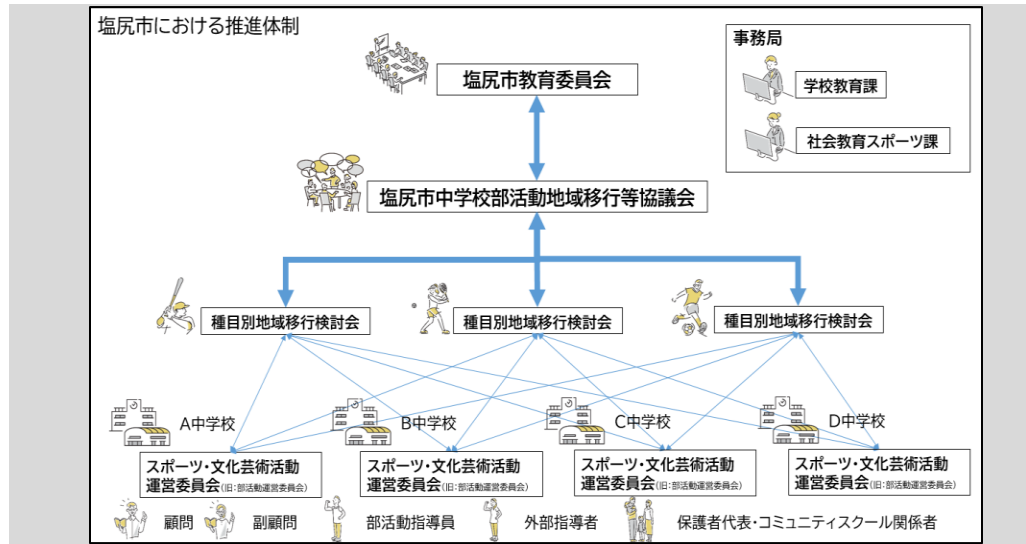
### 【課題】

塩尻市の生徒数の推移を見ると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（学校教育課）

協議会の事務局として、学校部活動の地域連携及び地域移行に係る学校側の調査・検討・調整を行った。

また、アーバンスポーツ信州に体験業務を委託し、アーバンスポーツを体験できる実証事業を実施した。

##### ◎首長部局（社会教育スポーツ課）

協議会の事務局として、地域のスポーツ・文化芸術活動に関する調査・検討・調整を行った。

### 年間の事業スケジュール

|         |                                             |
|---------|---------------------------------------------|
| 令和6年4月  | スポーツ・文化芸術活動運営委員会（各学校）<br>アーバンスポーツ信州体験業務委託締結 |
| 令和6年6月  | 塩尻市中学校部活動地域移行計画 策定                          |
| 令和6年6月～ | 第1回種目別地域移行検討会                               |
| 令和6年8月  | 第3回 塩尻市中学校部活動等協議会                           |
| 令和7年1月～ | 第2回種目別地域移行検討会                               |
| 令和7年2月  | 第4回 塩尻市中学校部活動等協議会                           |

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○部活動統括コーディネーターの継続雇用

・対話を実施するために学校との連絡調整、国・長野県・他県市区町村の情報収集、各種会議の種目別関係者との日程調整

・（練習）部活動の現状視察、地域クラブ活動の現状視察等を実施。（大会）中体連の大会視察。

##### 取組の成果

○塩尻市中学校部活動地域移行計画に沿い、種目別地域移行検討会を実施できた。連絡調整ができた結果、10種目のべ106名（顧問・副顧問42名、部活動指導員15名、外部指導者14名、その他地域クラブ指導者や連盟関係者35名）と部活動地域移行について方向性を話し合う場が持てた。このことにより指導者への関係者への周知はできた。

○部活動地域移行ニュースを8回作成し、各戸配布と塩尻市ホームページに掲載することで現在の国・県の取り組みや塩尻市の部活動地域移行への取り組みに対する進捗状況を配信して周知をした。

| 日      | 曜 | 会議                        | 会場等        |
|--------|---|---------------------------|------------|
| 4月16日  | 火 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 塩尻中学校      |
| 4月22日  | 月 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 塩尻西部中学校    |
| 4月23日  | 火 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 広陵中学校      |
| 5月8日   | 火 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 丘中学校       |
| 5月8日   | 火 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 樽川小中学校     |
| 6月25日  | 火 | 種目別地域移行検討会（ソフトテニス）（第1回）   | 広陵中学校      |
| 7月26日  | 金 | 種目別地域移行検討会（バレーボール）（第1回）   | 塩尻中学校      |
| 7月31日  | 水 | 種目別地域移行検討会（バスケットボール）（第1回） | 広陵中学校      |
| 8月2日   | 金 | 種目別地域移行検討会（陸上）（第1回）       | 広陵中学校      |
| 8月21日  | 水 | 第3回部活動地域移行協議会             | 塩尻総合文化センター |
| 8月22日  | 木 | 種目別地域移行検討会（サッカー）（第1回）     | 塩尻総合文化センター |
| 8月29日  | 木 | スポーツ・文化芸術活動運営委員会          | 西小野中学校     |
| 9月3日   | 火 | 種目別地域移行検討会（軟式野球）（第1回）     | 塩尻総合文化センター |
| 9月13日  | 金 | 種目別地域移行検討会（軟式野球）（第1回）     | 塩尻西部中学校    |
| 10月7日  | 月 | 種目別地域移行検討会（剣道）（第1回）       | 丘中学校       |
| 10月11日 | 金 | 種目別地域移行検討会（バドミントン）（第1回）   | 丘中学校       |
| 10月15日 | 火 | 種目別地域移行検討会（卓球）（第1回）       | 広陵中学校      |

▶ 開催種目 10種目  
▶ 参加人数 計 106名

106名の内訳

|        |     |
|--------|-----|
| 顧問     | 42  |
| 部活動指導員 | 15  |
| 外部指導者  | 14  |
| その他 ※  | 35  |
| 合計     | 106 |

※その他は、地域クラブの指導者、スポーツ協会、スポーツ少年団、各種目の県や連盟等に所属される方

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

・種目別地域移行検討会の1ヶ月前から各部活動の顧問、部活動指導員、外部指導者、他地域スポーツクラブの関係者等と日程調整を実施し、開催通知等を送付した。

・会議では国・長野県の方針やワーキンググループでの情報を集約し、関係者、保護者等への周知に努めた。

##### 今後の課題と対応方針

・先進の他県他市区町村の取り組みに対する情報収集が不足しているため、関係者への連絡等により回数を増やす。

・部活動の状況だけでなく、受け皿候補の地域クラブがあれば実際の活動状況を視察する回数を増やす。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

○アーバンスポーツ信州と業務委託契約を締結し、部活動にない種目（ダブルダッチ、スラックライン、3×3、フリースタイルけん玉、パルクールなど）を体験できる場所を提供した。

部活動にない新しい種目を体験できる場所があることにより、子どもたちの選択肢が広がり部活動の地域移行の一つのありたき姿として活動周知をして参加者を増やした。

##### 取組の成果

○ユメックスアリーナと市立体育館を会場として、年7回実施できた。種目によってではなく、会場確保の時間帯などにより参加人数が増減したが、リピーターなども増えその友人や知人を通じて参加者を増やせた。

○塩尻市教育委員会としては、学校へのチラシ配布や塩尻市ホームページでスケジュール掲載など実施した。



**【第一弾スケジュール】**  
※第二弾以降も調整中で年間15回程度開催する予定です

| 日時                      | 会場        | 種目                      | 講師                                   | 料金                 | 申込期限    |
|-------------------------|-----------|-------------------------|--------------------------------------|--------------------|---------|
| 5月19日（日）<br>18:00-20:00 | ユメックスアリーナ | 3X3                     | 塩尻松本タイフックス                           | 市内：300円<br>市外：500円 | 5月16日まで |
| 6月8日（土）<br>17:00-19:00  | 塩尻市立体育館   | パルクール<br>スラックライン<br>けん玉 | 塩尻なんPK<br>CROSSLINE<br>Zuku Kendamas | 市内のみ対象：300円        | 6月6日まで  |

**【申込方法】**  
※下記2つの方法のどちらかで申し込みください  
※対象年齢は小学生4年生以上で大人の方も大歓迎です  
※参加者のお名前と年齢をお知らせください  
※保険加入のため事前エントリーとさせていただきます（申込期限要確認）

①下記メールアドレスより直接申し込み  
hello@usshinshu.com

②右記インスタQRコードを読み取り、フォロー後にDMから申し込み

### 今後の課題と対応方針

○令和6年度はまだまだ周知不足していると感じたため、部活動の地域移行の一環であるということも含め塩尻市ホームページでの周知やチラシ配布の回数を増やしたい。  
参加者からアンケートを実施して満足度等の調査を実施し対策をとりたい。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度は部活動地域移行の進捗状況を周知するための1年となった。子どもたちや保護者、学校の職員はまだまだ部活動地域移行に対する知識や国の取り組みなどについて知らないことが多く、自治体によって部活動の入部を取りやめるなど方向性が違うため、異なる情報が入り乱れている。部活動統括コーディネーターが部活動の地域移行ニュースを配信したり、各会議に参加することで塩尻市の現状を直接説明する場ができ、少しずつ理解を得られている部分も増えている。

一方、部活動にないスポーツの場作りとして、アーバンスポーツ信州に業務委託しアーバンスポーツを体験できる場を提供できた。既存の部活動だけでなく、新しい活動を期待する子どもたちもいるため、今後も活動周知を増やして選択できるようにしたい。

受け皿となる団体が持続可能な団体であることが重要であるため、既存の団体等の状況をよく理解し塩尻市に合った支援の方法などを検討していく。

#### ●成果の評価

部活動統括コーディネーターの成果の評価は、事務局として学校や関係者との連絡調整が円滑にできたため4ヶ月の間に10種目の会議を調整できたことは評価できる。

今後も種目別地域移行検討会は回数を重ねて、先行団体の確保を進めていく。

アーバンスポーツ信州は、活動回数が少なかったことと集客が少なかったことを課題とする。活動回数が少なくなった原因は、会場確保が困難であったこともあるが、集客については周知が足りなかったことが原因と考えるため、団体としての評価というよりは事務局としても周知に協力して取り組むべきと考える。

活動としては、リピーターもいることから子どもたちの評価は高い。遊びに近い感覚で参加できることが評価に繋がる。

#### ●今後に向けて

コーディネーターは市内だけでなく市外や県外など先行自治体の取り組み等についてさらなる情報収集をし、推進に活かしていく。

アーバンスポーツ信州は、チラシの配布や動画の配信などさらなる周知に努め集客を増やす。アンケートなどの場でもこのような活動の場があることを広める。

## 2.実証内容と成果②

### 参考資料（活動写真）



【ミニバス】



【ダブルダッチ】



【パルクール】



【けん玉】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

塩尻市中学校  
部活動地域移  
行計画策定



「塩尻市中学校  
部活動地域移  
行協議会」  
「種目別地域移  
行検討会」など



令和7年

塩尻市中学校  
部活動地域移  
行計画見直し  
検討



先行団体の支  
援等を開始



令和8年

休日の部活動を  
地域クラブへ移  
行する



令和9年

平日の部活動を  
地域クラブへ移  
行検討

#### ●塩尻市教育委員会

種目別地域移行検討会実施

#### ●経過

各種目ごと現状と課題を集積し、先行団体となりうる団体があるか関係者と検討した。

#### ●実施にあたって生じた課題

事務局からの具体的な支援策が見えないためほとんどの団体が現状維持のままとなった。

#### ●実施内容、工夫した点 等

アプリの導入検討など具体的に取り組む内容を少しずつ関係者に提示していき、より実践的なイメージを持ってもらえるように努めた。

#### ●桔梗ソフトクラブ

令和7年度 先行団体

#### ●経過

既存のソフトテニスクラブ。すでに休日も平日の部活動を補う形で活動しているため、部活動地域移行の受け皿として活動していただく。

○令和7年春に示される国の方針を確認し、長野県の方針が固まり次第、塩尻市中学校部活動地域移行計画の見直しを検討する。

○先行団体の課題等を踏まえ、各種目へ情報を共有して塩尻市の部活動の地域クラブ移行の形を目指す。

### 3.今後の方向性

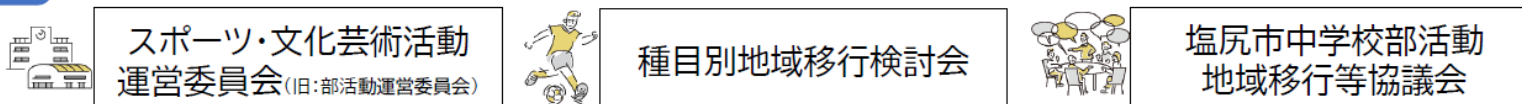
#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

#### 塩尻市部活動地域移行計画(案) 子どもの願いを叶える「しおじり部活動2.0」の創造 Shiojiri Bukatsudo2.0 Creation

**現状** 「部活動」や「地域移行」に対して、それぞれが異なる期待や不安を抱いている。



**対話** 関係者が集まって、自分たちの「部活動の未来」について話し合う。



**推進** みんなで描いた「部活動の未来」の実現に向けて、計画を推進する。

